

2017年度日本発知的財産活用 ビジネス化支援事業エコシステム調査 ～ロサンゼルス編～

～2028年ロサンゼルスオリンピック・パラリンピック大会でのショーケース化も念頭に～

2018年3月
日本貿易振興機構（JETRO）
ロサンゼルス事務所

【免責条項】本調査で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本調査で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

目次

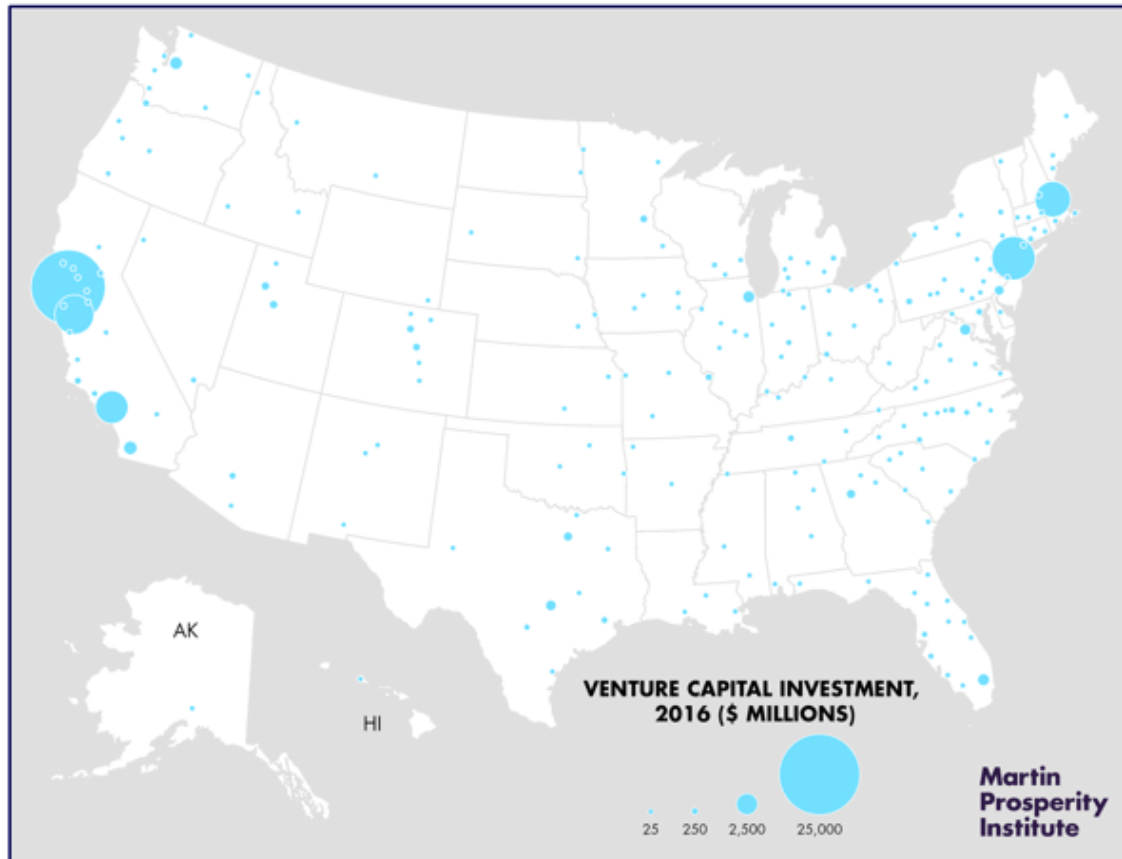
1. 南カリフォルニア・イノベーションの現状 3P
 - 全体概況① 急成長する南カリフォルニアのスタートアップ環境
 - 全体概況② 南カリフォルニア、スタートアップ企業分布
 - スタートアップ企業数推移：他地域との比較
 - スタートアップ企業数成長率：他地域との比較
 - 各分野におけるスタートアップ企業の地域別構成：他地域との比較
 - スタートアップ企業数の推移：南CA
 - スタートアップ企業数と業界ヒートマップ：南CA
 - VC投資額（アメリカ国内比較）
 - 各分野におけるスタートアップ企業への投資の地域別構成：他地域との比較
 - 分野別投資額：他地域との比較
 - スタートアップ企業への投資取引額の推移：南CA
 - スタートアップ企業への投資額と業界ヒートマップ：南CA
 - 投資会社数、投資取引数、Exit数：南CA
 - 投資取引数の推移：南CA
 - ステージ別投資取引数推移：南CA
 - 投資取引数と業界ヒートマップ：南CA
2. 南カリフォルニアでのスタートアップ設立の利点・魅力 20P
3. 南カリフォルニアのベンチャー企業例 31P
 - 南カリフォルニアでの注目度の高いビジネスモデル・製品・サービス
 - 成功企業例
4. 南カリフォルニアのアクセラレーター・インキュベーター例 41P
 - 投資会社（VC、アクセラレーター・インキュベーター等を含む）創設数の推移：南CA
 - 南カリフォルニアの主なアクセラレーター・インキュベーターリスト
 - 代表的なアクセラレーター・インキュベーター
5. 特許・営業秘密 52P
 - 南カリフォルニア 特許件数3年間推移
 - 都市別特許件数比較（CY2017）
 - 事業分野別チャート：南CA
 - 権利者 Top 10：南CA
 - カリフォルニア州南部地区連邦地裁における特許訴訟件数推移
 - カリフォルニア州南部地区連邦地裁における特許訴訟技術分類
 - スタートアップ企業が注意すべき特許上、営業機密上のポイント
6. 南カリフォルニアのスタートアップ向けイベント情報 72P
 - アクセラレーター・インキュベーター主催イベント
 - CESにおける各国スタートアップ支援状況

1. 南カリフォルニア・イノベーションの現状

全体概況① 急成長する南カリフォルニアのスタートアップ環境

南カリフォルニアのベンチャーキャピタル投資額は、サンフランシスコとシリコンバレーを中心とする北カリフォルニアに次ぎ、ニューヨークやボストンと肩を並べる規模となり、急速に成長を遂げている。

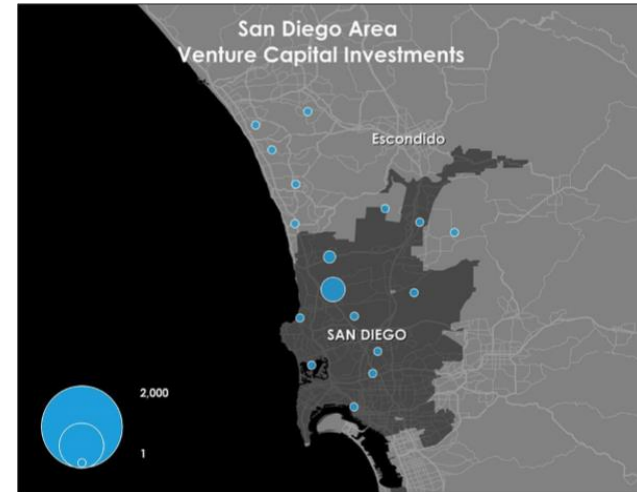
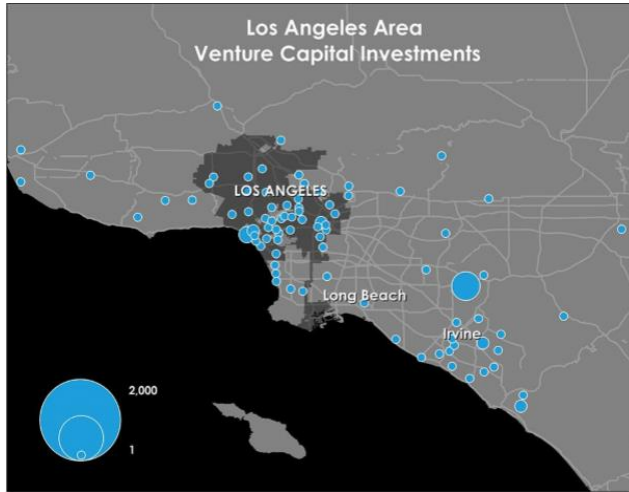
北米都市におけるベンチャーキャピタル投資額（2016年）



Metro	Venture Capital Investment (in millions)	Share of U.S. Total
San Francisco-Oakland-Hayward, CA	\$23,401	34.13%
New York-Newark-Jersey City, NY-NJ-PA	\$7,565	11.03%
San Jose-Sunnyvale-Santa Clara, CA	\$6,718	9.8%
Boston-Cambridge-Newton, MA-NH	\$6,028	9.79%
Los Angeles-Long Beach-Santa Ana, CA	\$5,446	7.94%
San Diego-Carlsbad, CA	\$1,549	2.26%
Seattle-Tacoma-Bellevue, WA	\$1,503	2.19%
Miami-Fort Lauderdale-West Palm Beach, FL	\$1,296	1.89%
Chicago-Naperville-Elgin, IL-IN-WI	\$1,245	1.82%
Washington-Arlington-Alexandria, DC-VA-MD-WV	\$1,090	1.59%
Austin-Round Rock, TX	\$977	1.43%
Philadelphia-Camden-Wilmington, PA-NJ-DE-MD	\$897	1.31%
Atlanta-Sandy Springs-Roswell, GA	\$754	1.10%
Dallas-Fort Worth-Arlington, TX	\$678	0.99%

全体概況② 南カリフォルニア、スタートアップ企業分布

大手企業のデザイン、R&D、製造拠点多く存在する南カリフォルニアだが、エンターテインメント、バイオ・サイエンス、IoT、小売・物流、環境エネルギー、航空機武器、ロボットの分野でのスタートアップも多く生まれてきている。スタートアップ企業の多くは、ロサンゼルス、オレンジカウンティ、サンディエゴの3つの郡に集中しており、ロサンゼルスではエアロスペース、クリーンテック、エンターテインメント、オレンジカウンティではゲーム、サンディエゴではバイオ・サイエンス系のスタートアップが多く見られる。



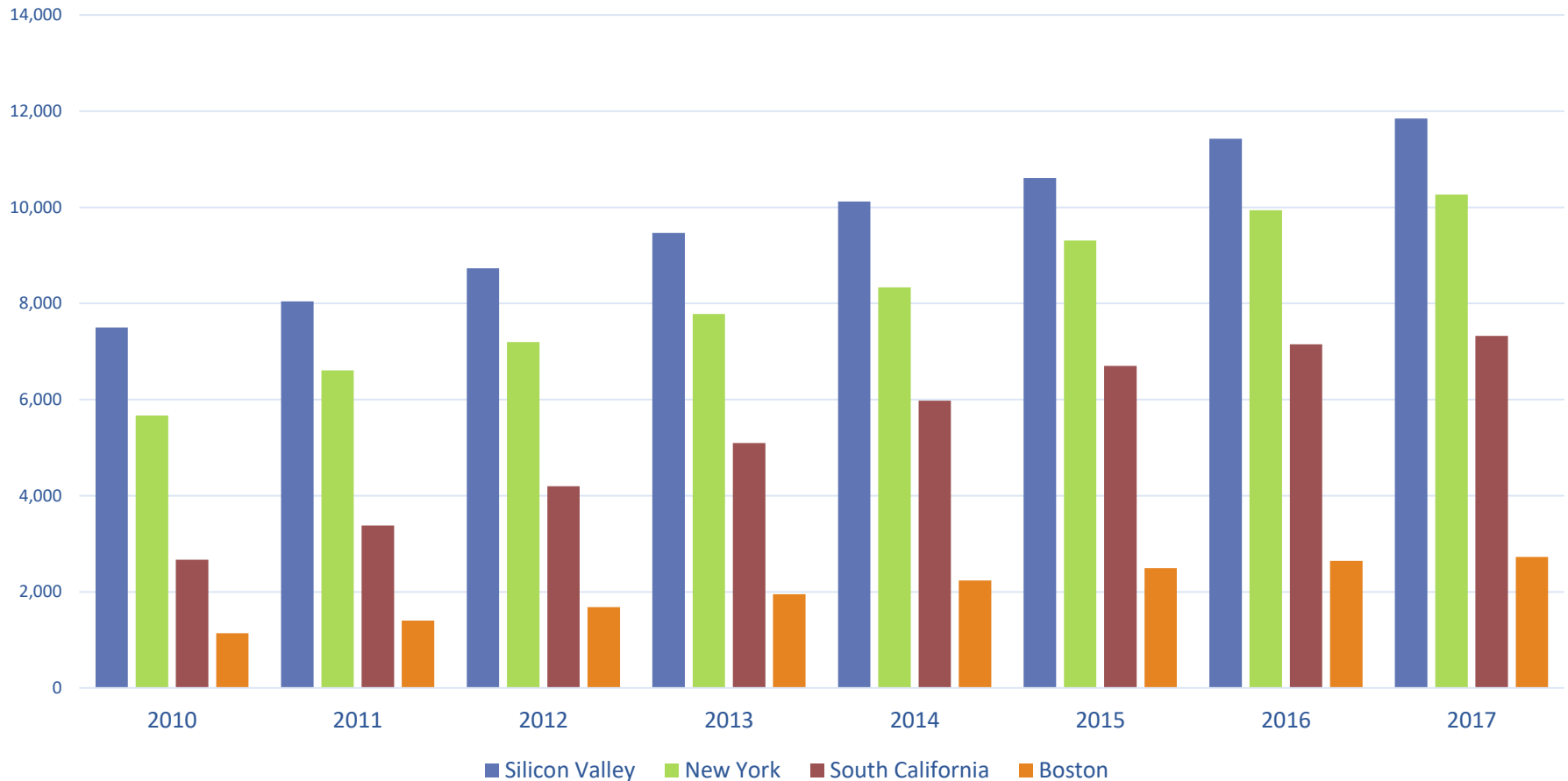
Top Ten Zip Codes for Venture Capital Investment in Los Angeles and Orange County					Top Ten Zip Codes for Venture Capital Investment in San Diego				
Rank	Zip Code	Neighborhood and Features	City	Investment (millions)	Rank	Zip Code	Neighborhood and Features	City	Investment (millions)
1	92807	East Anaheim/Anaheim Hills	Anaheim (OC)	\$531	1	92121	Torrey Pines, Sorrento Mesa	San Diego	\$440
2	90401	Downtown Santa Monica, including the pier	Santa Monica	\$286	2	92130	Carmel Valley	San Diego	\$108
3	92618	Irvine Spectrum Center, Irvine Tech and Research Centers	Irvine (OC)	\$154	3	92123	Serra Mesa	San Diego	\$85
4	91522	Warner Bros. Studios	Burbank	\$128	4	92011	Southern Carlsbad	Carlsbad	\$50
5	90071	Downtown, Bunker Hill	Los Angeles	\$125	5	92101	Downtown -- Gaslamp Quarter, Harborview, Airport	San Diego	\$49

Source: The Martin Prosperity Institute (MPI), Exa Innovation Studio, Inc. (EIS) Analysis

スタートアップ企業数推移：他地域との比較

全米スタートアップ企業数トップ4の地域（シリコンバレー、ニューヨーク周辺地区、南カリフォルニア、ボストン周辺地区）と比較すると、南カリフォルニアの企業数は近年、シリコンバレー、ニューヨーク周辺地区に迫る勢いで成長を遂げている。

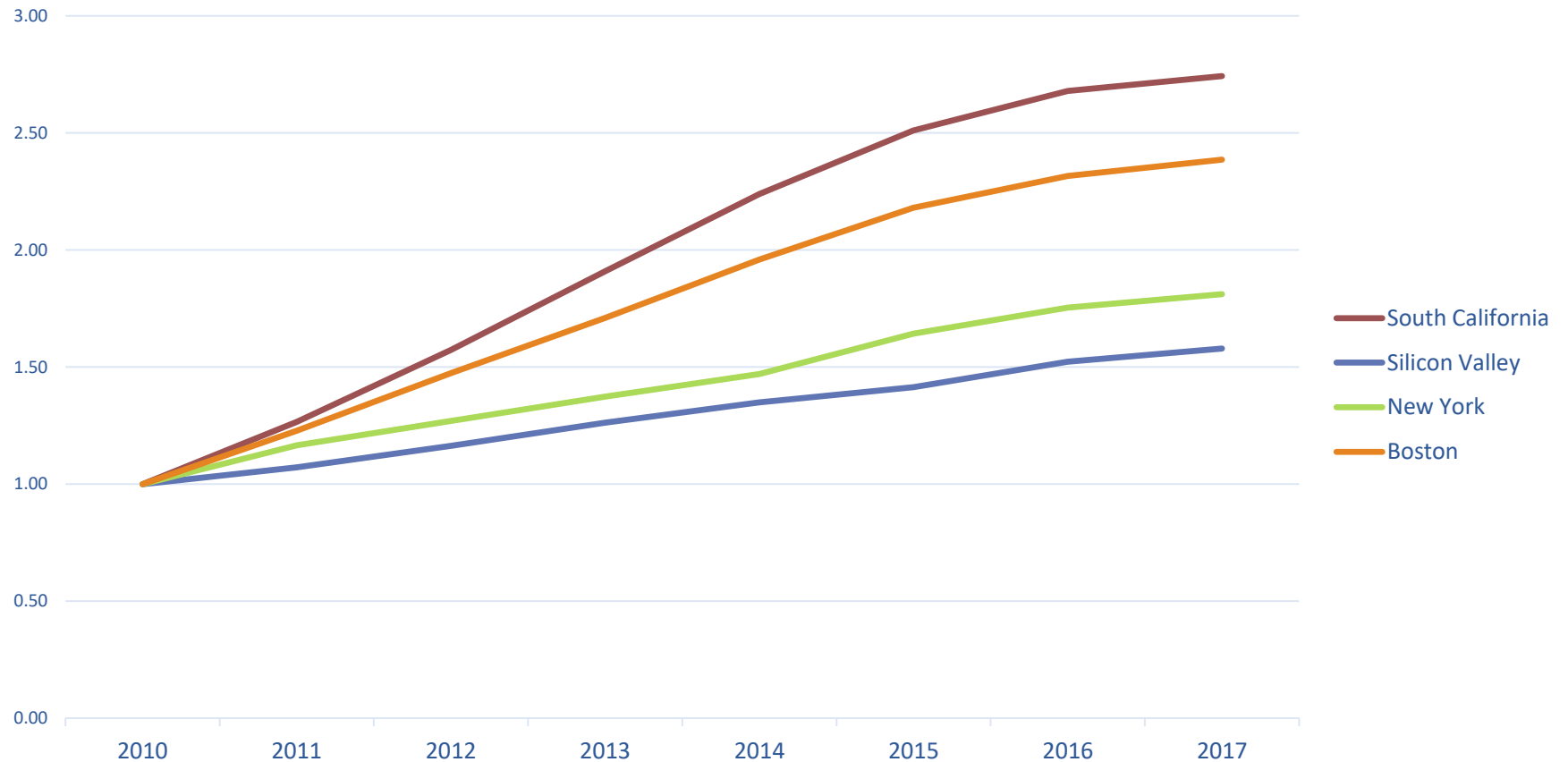
各地域のスタートアップ企業数推移



スタートアップ企業数成長率：他地域との比較

2010年と比較した各地域でのスタートアップ企業数成長率は南カリフォルニアが最も高く、南カリフォルニアのスタートアップ企業エコシステムが急速に成長している。

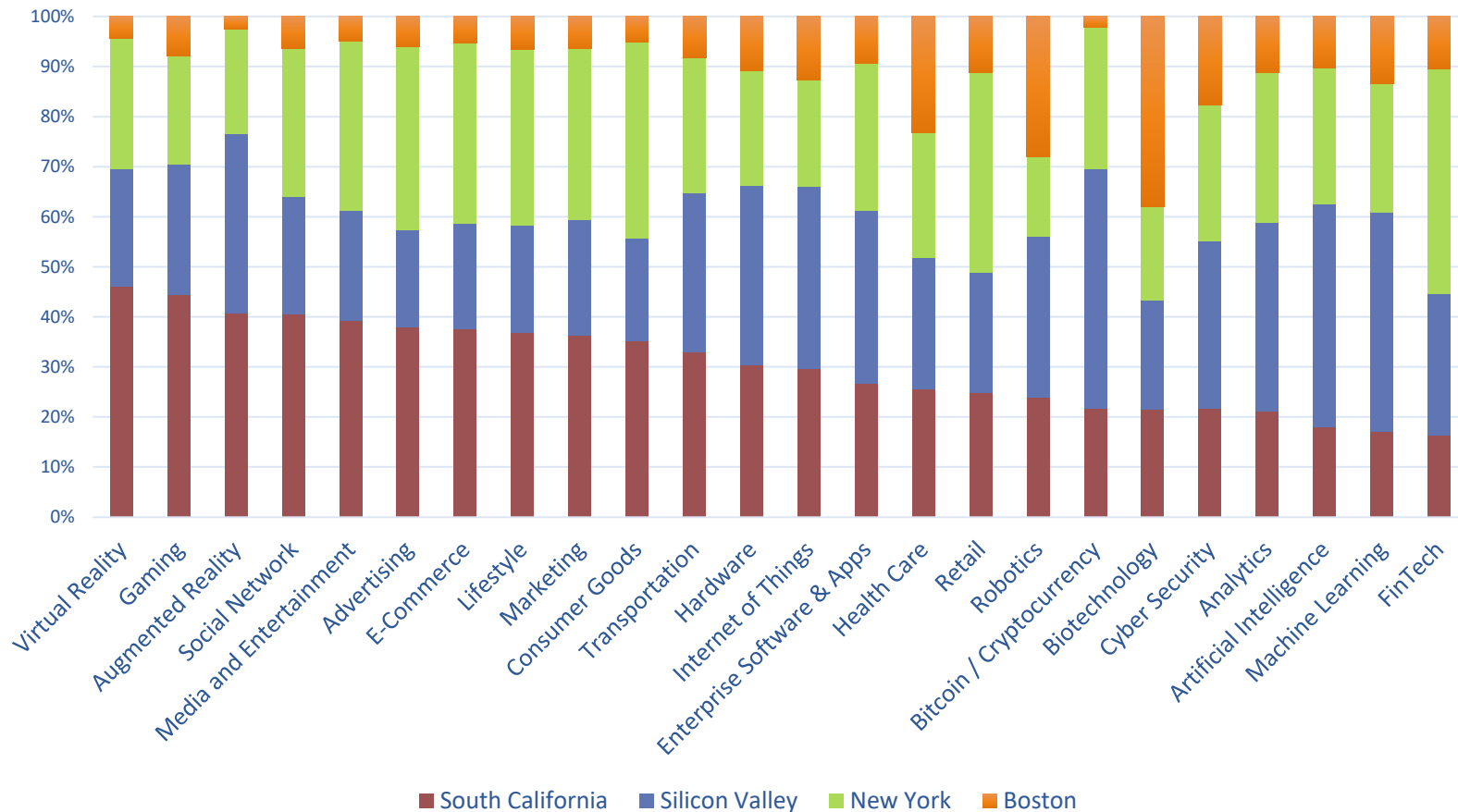
スタートアップ企業数インデックス



各分野におけるスタートアップ企業の地域別構成(企業数ベース：2010-2017年) ：他地域との比較

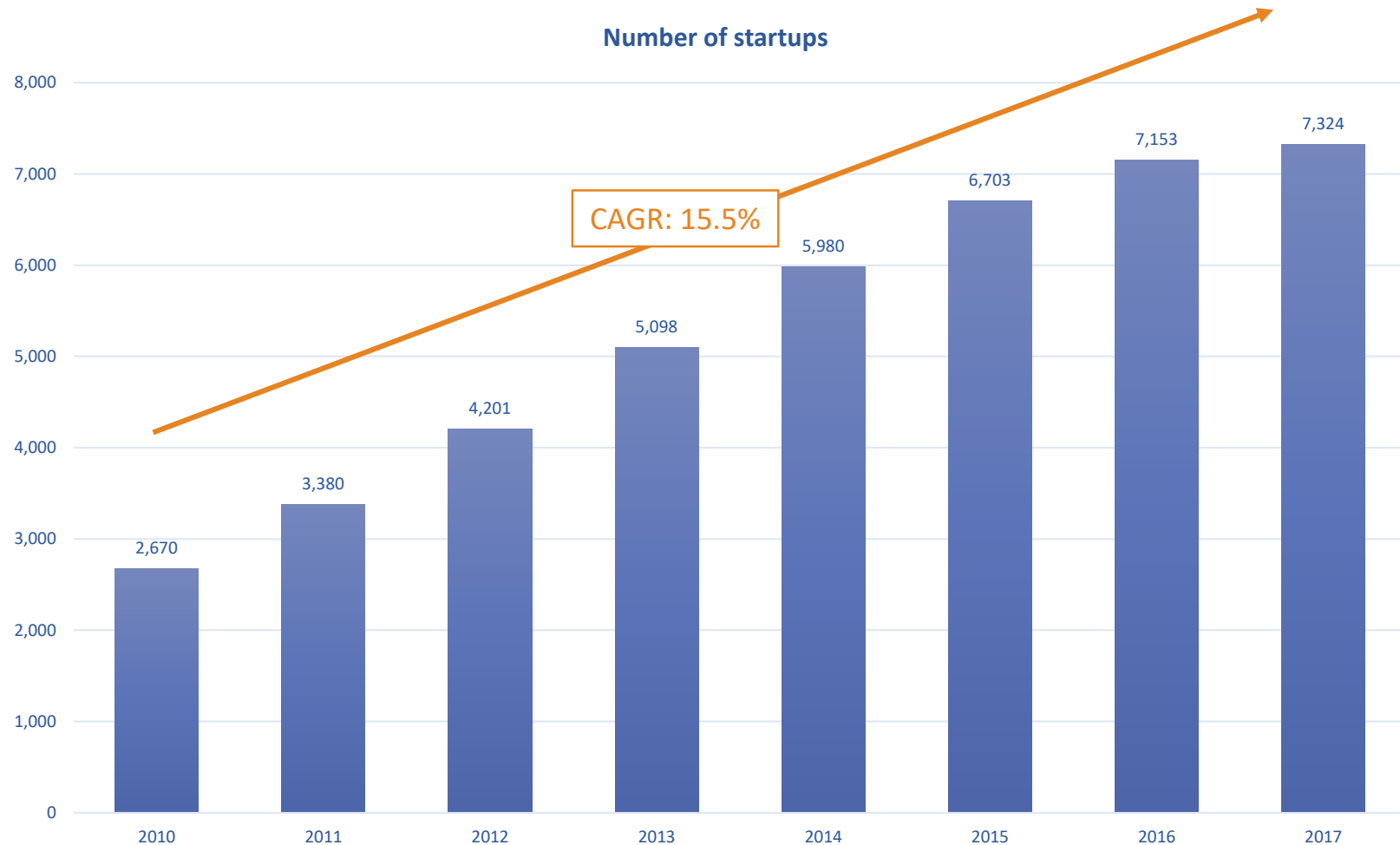
企業数から比較した分野別でのスタートアップ企業の地域別構成においては、南カリフォルニアでは、Virtual Reality、ゲーム、Augmented Reality、ソーシャルネットワーク、メディア・エンターテインメントの分野の企業数が多い。

各分野におけるスタートアップ企業の地域別構成（企業数ベース）



スタートアップ企業数の推移 (2010-2017年) : 南CA

南カリフォルニアのスタートアップ企業数は年間平均15.5%で増加している。



スタートアップ企業数と業界ヒートマップ (2010-2017年) : 南CA

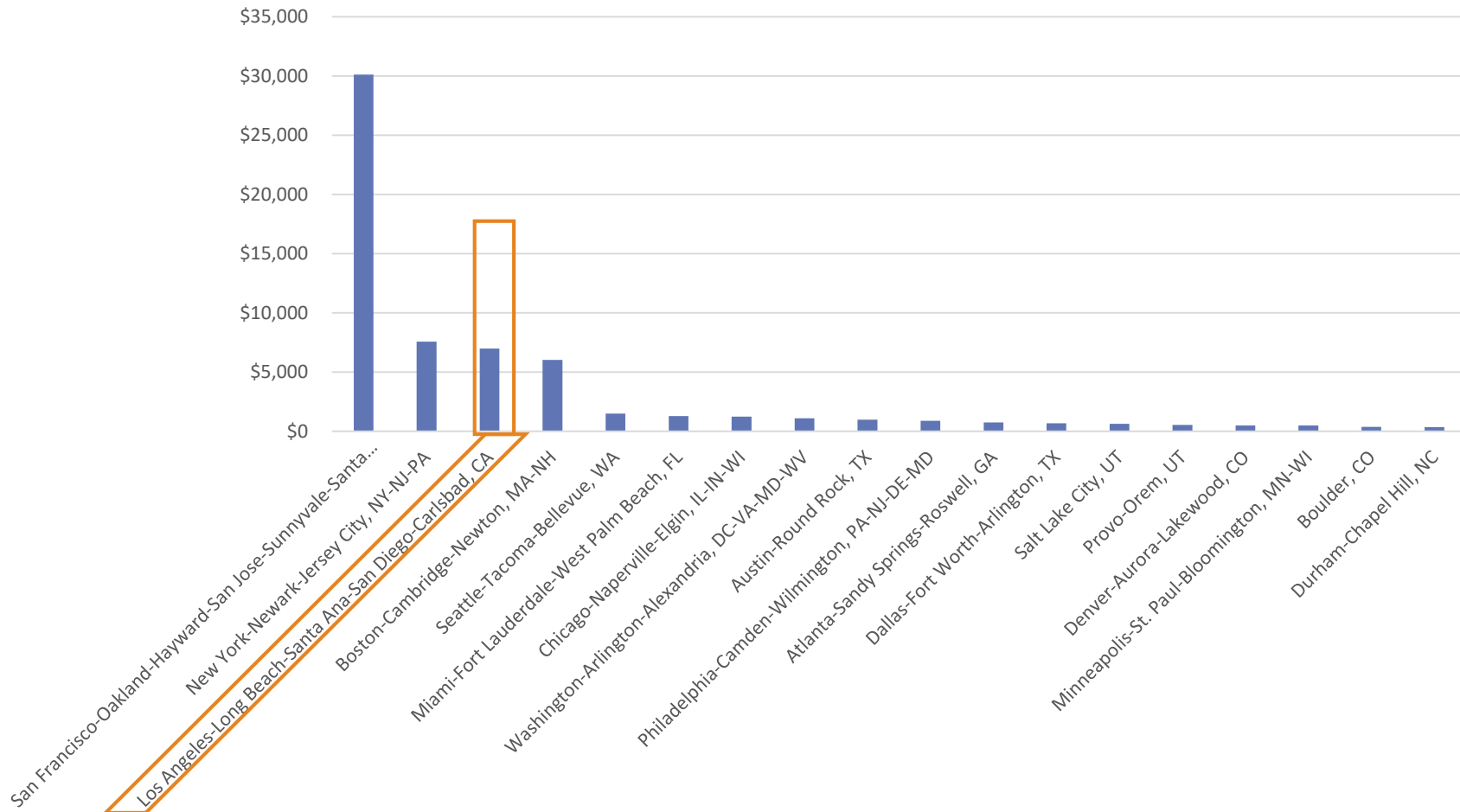
多くの南カリフォルニアのスタートアップは、ソフトウェア、メディア・エンターテインメント、マーケティング、ハードウェア、Eコマースに集中している。また、サンディエゴにはヘルスケア、バイオテクノロジーの分野の企業が多いため、これらの業界も上位に位置している。

Domain	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	Total
Software	188	181	221	262	295	213	136	56	1,552
Media and Entertainment	181	192	230	195	207	160	67	29	1,261
Marketing	137	101	107	118	98	68	41	13	683
Hardware	46	42	63	80	89	84	57	20	481
E-Commerce	71	75	85	90	59	61	29	11	481
Health Care	59	60	49	107	72	76	33	11	467
Analytics	46	41	49	68	75	46	47	15	387
Advertising	83	51	63	69	45	34	19	3	367
Lifestyle	31	23	41	44	45	51	27	5	267
Transportation	17	15	20	21	36	29	18	3	159
Consumer Goods	15	10	18	30	29	29	13	7	151
Biotechnology	28	19	13	35	16	19	12	2	144
Gaming	20	14	25	13	23	20	12	2	129
Artificial Intelligence	9	6	9	21	20	23	28	10	126
Retail	7	14	18	19	22	17	8	3	108
Social Network	7	7	10	12	14	20	14	2	86
Internet of Things	3	6	9	17	13	15	9	2	74
Virtual Reality	3	2	4	7	14	16	22	5	73
FinTech	5	6	11	17	12	9	8	4	72
Machine Learning	4	1	6	8	10	11	16	2	58
Augmented Reality	2	2	5	7	10	7	8	4	45
Cyber Security	4	1	5	6	10	4	6	1	37
Robotics	0	0	5	10	7	7	2	3	34
Bitcoin / Cryptocurrency	0	0	1	3	5	0	2	3	14

VC投資額（アメリカ国内比較）

2016年のVC投資額を地域別に比較すると、南カリフォルニアは北カリフォルニア、ニューヨーク周辺地区に次いで全米第3位の位置付けである。

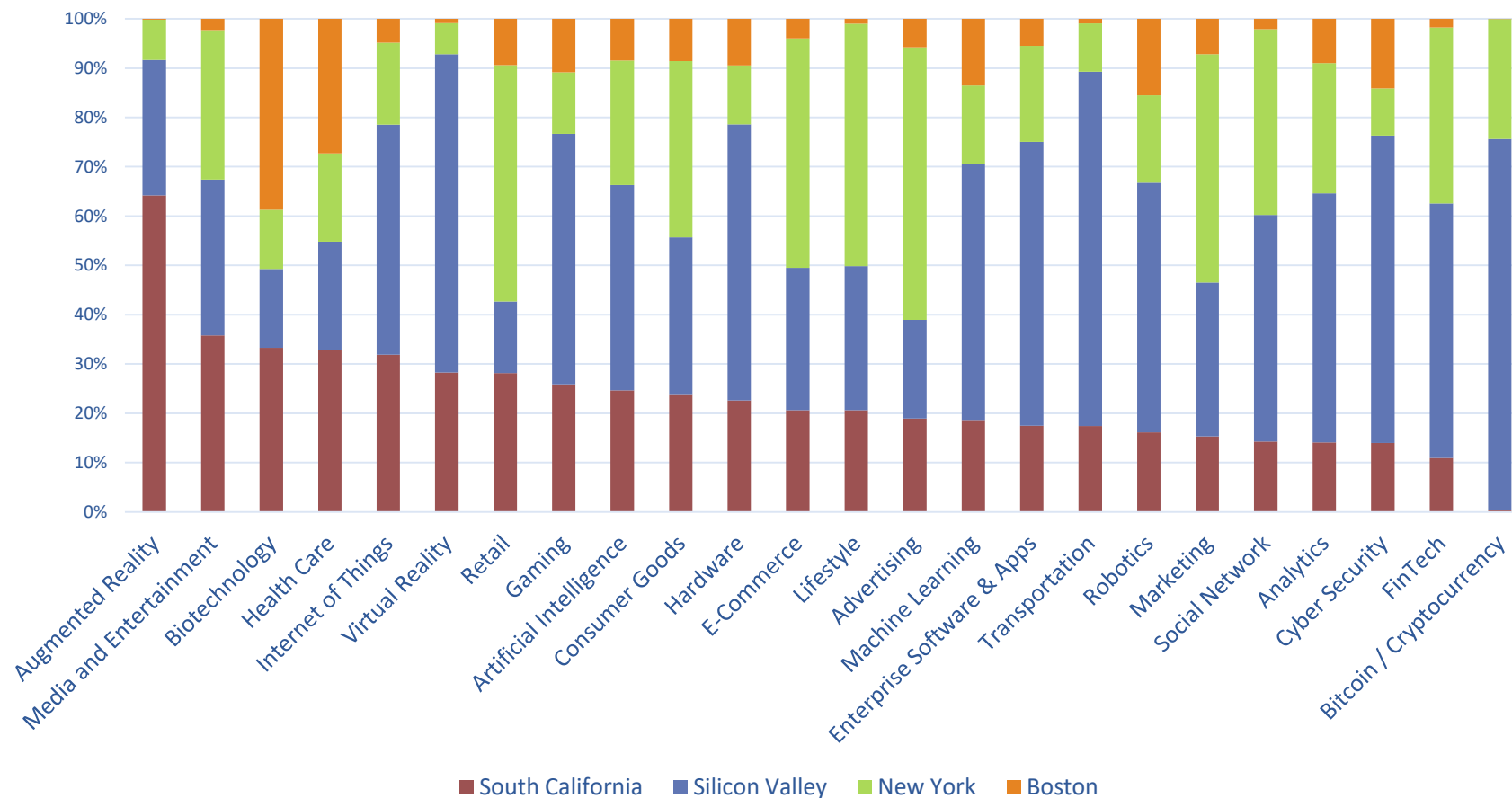
2016 Venture Capital Investment (in millions)



各分野におけるスタートアップ企業への投資の地域別構成（投資額ベース：2010-2017年） ：他地域との比較

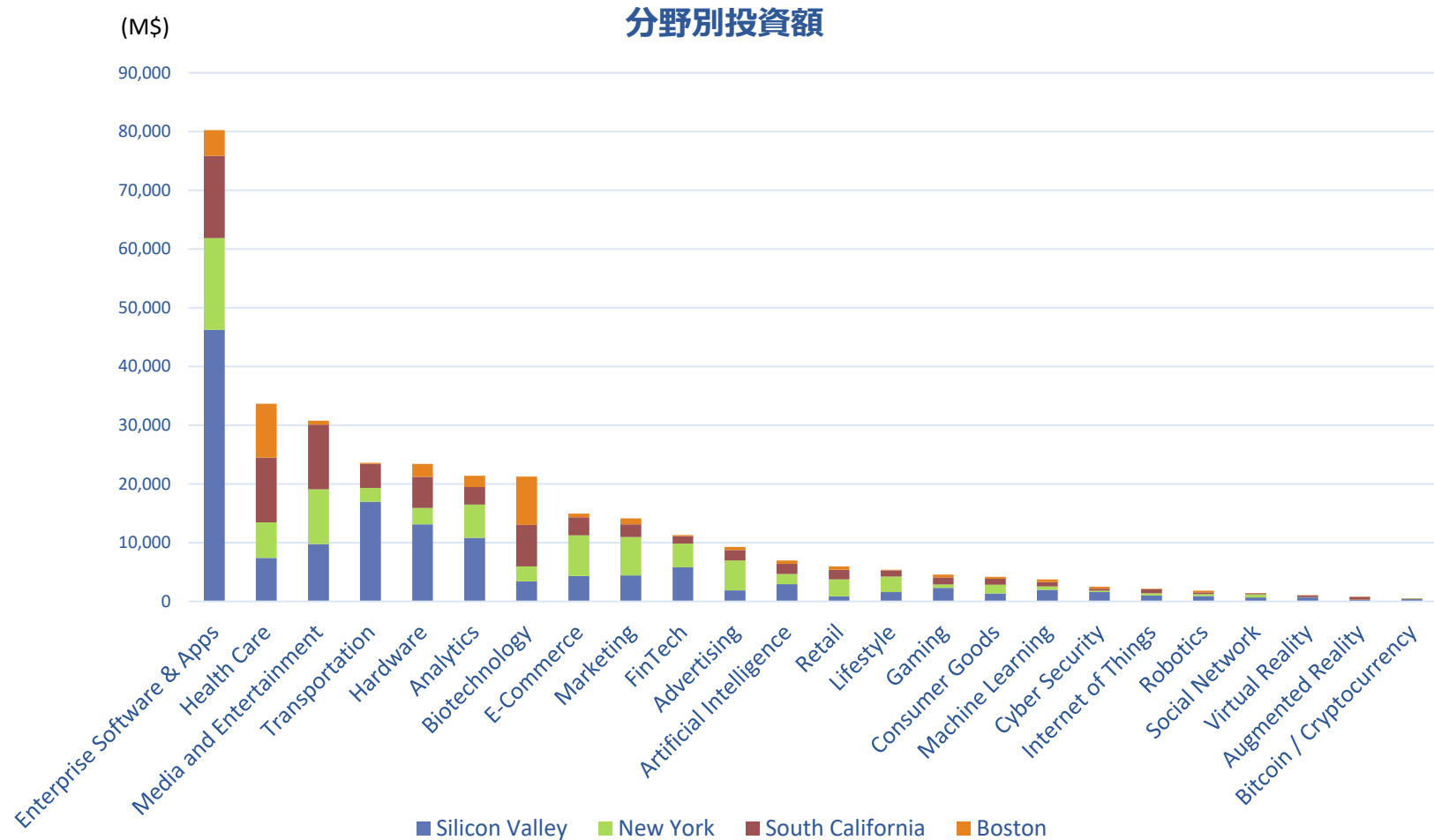
投資額から比較した分野別スタートアップ企業への地域別構成においては、南カリフォルニアでは、Augmented Reality、メディア・エンターテインメント、バイオテクノロジー、ヘルスケア、モノのインターネット（IoT）の分野への投資が多い。

各分野におけるスタートアップ企業への投資の地域別構成（投資額ベース）



分野別投資額（2010-2017年）：他地域との比較

トップ4都市のスタートアップ企業への過去7年間の投資額は、エンタプライズ・ソフトウェア*の\$80Bが突出しており、次にヘルスケア、メディア・エンターテインメント、トランスポーテーション、ハードウェアの順となっている。

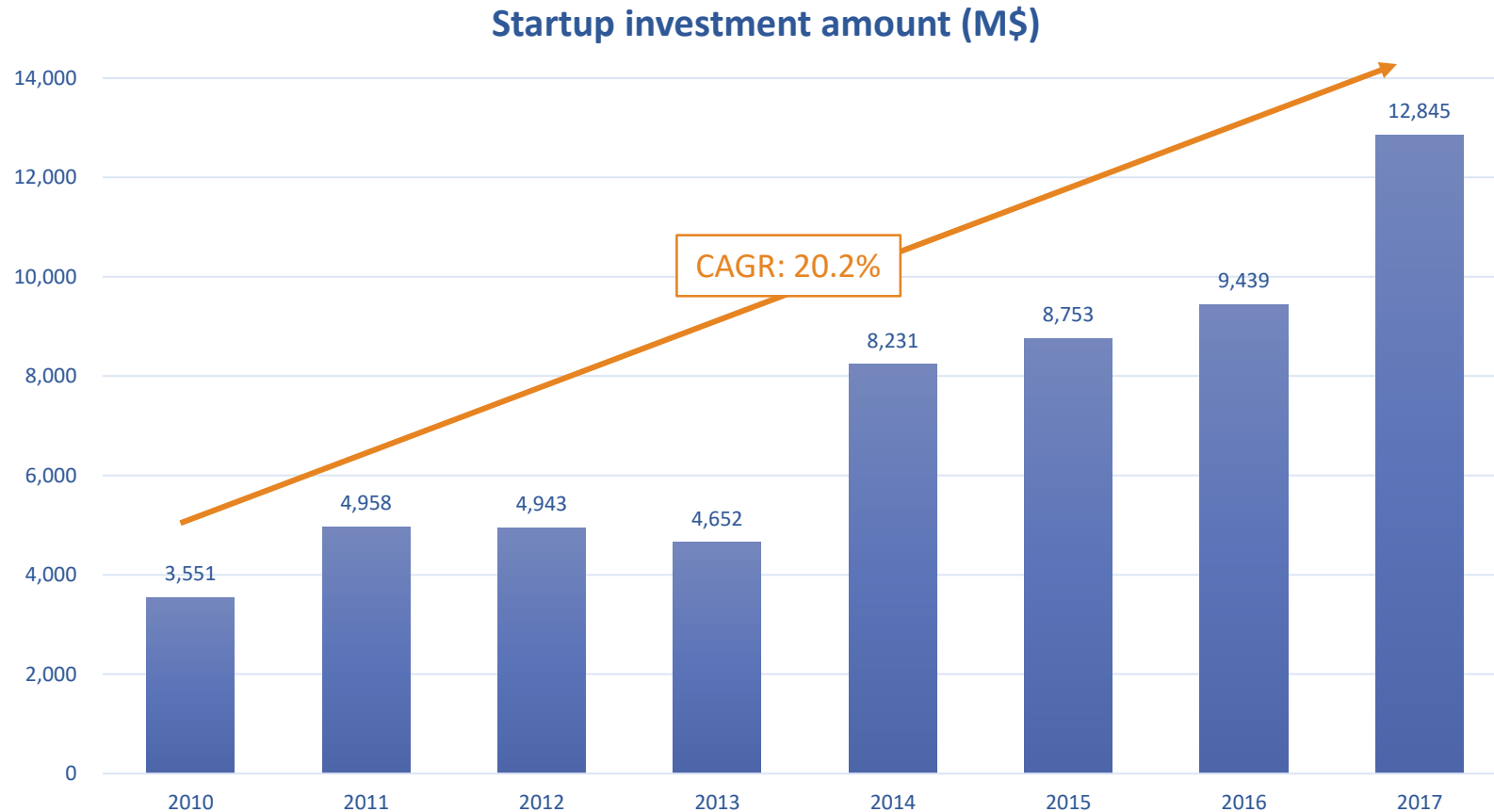


*Eコマース、AI、アナリティクス等を含まない、社内システムやアプリケーション等のソフトウェア

Source: Crunchbase data, Exa Innovation Studio, Inc. (EIS) Analysis

スタートアップ企業への投資取引額の推移：南CA

南カリフォルニアスタートアップ企業への投資取引額の推移をみると、年間平均20.2%で増加している。



スタートアップ企業への投資額と業界ヒートマップ (2010-2017年) : 南CA

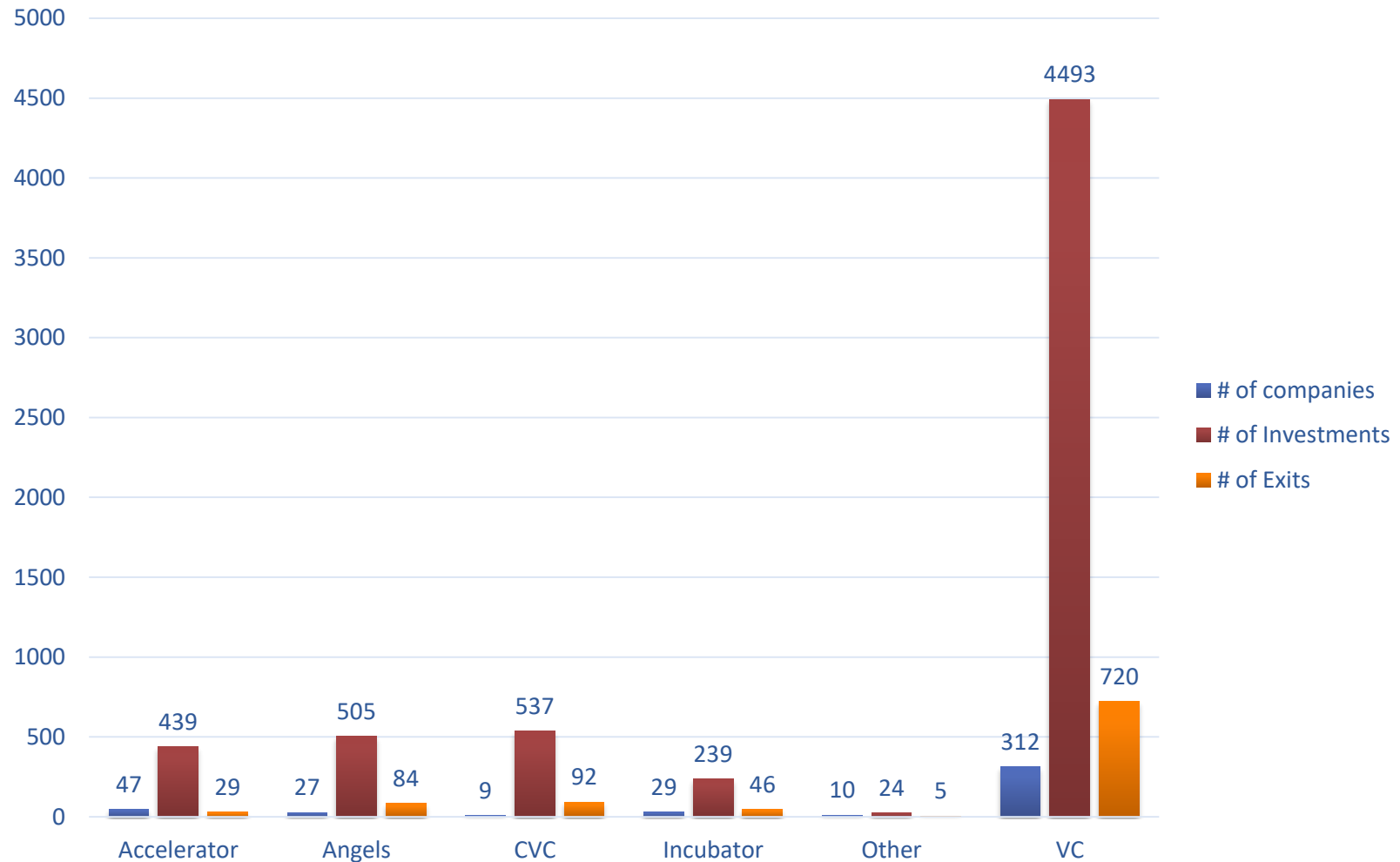
投資額から見ると、ソフトウェア、ヘルスケア、メディア・エンターテインメント、バイオテクノロジー、ハードウェアが上位5位の業界となっている。

Domain	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	Total	
Software		537	817	840	952	1 330	1 252	1 970	3 096	10 795
Health Care		1 026	367	896	609	1 630	1 958	1 189	1 346	9 021
Media and Entertainment		183	352	257	829	1 157	849	2 298	2 203	8 129
Biotechnology		802	304	651	422	806	1 194	811	814	5 804
Hardware		84	539	258	711	354	573	526	957	4 001
Transportation		391	909	428	94	111	123	139	1 141	3 336
E-Commerce		129	554	359	167	495	344	182	269	2 498
Analytics		80	79	173	144	362	537	375	579	2 329
Marketing		93	156	187	133	359	286	320	174	1 708
Advertising		84	124	127	63	291	164	230	310	1 393
Artificial Intelligence		0	19	109	61	133	280	203	491	1 296
Retail		16	505	114	74	200	169	136	59	1 272
FinTech		6	18	121	50	114	262	118	265	954
Gaming		35	77	32	53	84	257	173	166	875
Lifestyle		19	43	151	92	276	124	88	121	913
Consumer Goods		48	53	97	57	199	72	184	82	794
Machine Learning		0	14	91	36	61	191	121	13	527
Internet of Things		10	26	1	50	97	38	59	244	526
Augmented Reality		0	1	18	14	101	1	18	243	396
Cyber Security		0	2	0	23	47	38	84	58	253
Robotics		0	0	13	3	2	11	39	147	214
Virtual Reality		0	1	3	5	12	18	99	58	196
Social Network		4	0	19	9	9	11	79	9	141
Bitcoin / Cryptocurrency		0	0	0	0	2	0	0	0	2

Startup investment amount (M\$) **3 551** **4 958** **4 943** **4 652** **8 231** **8 753** **9 439** **12 845**

投資会社数、投資取引数、Exit数：南CA

南カリフォルニアにおける投資会社のカテゴリー別に見ると、コーポレートVC、VCが積極投資を行っている。



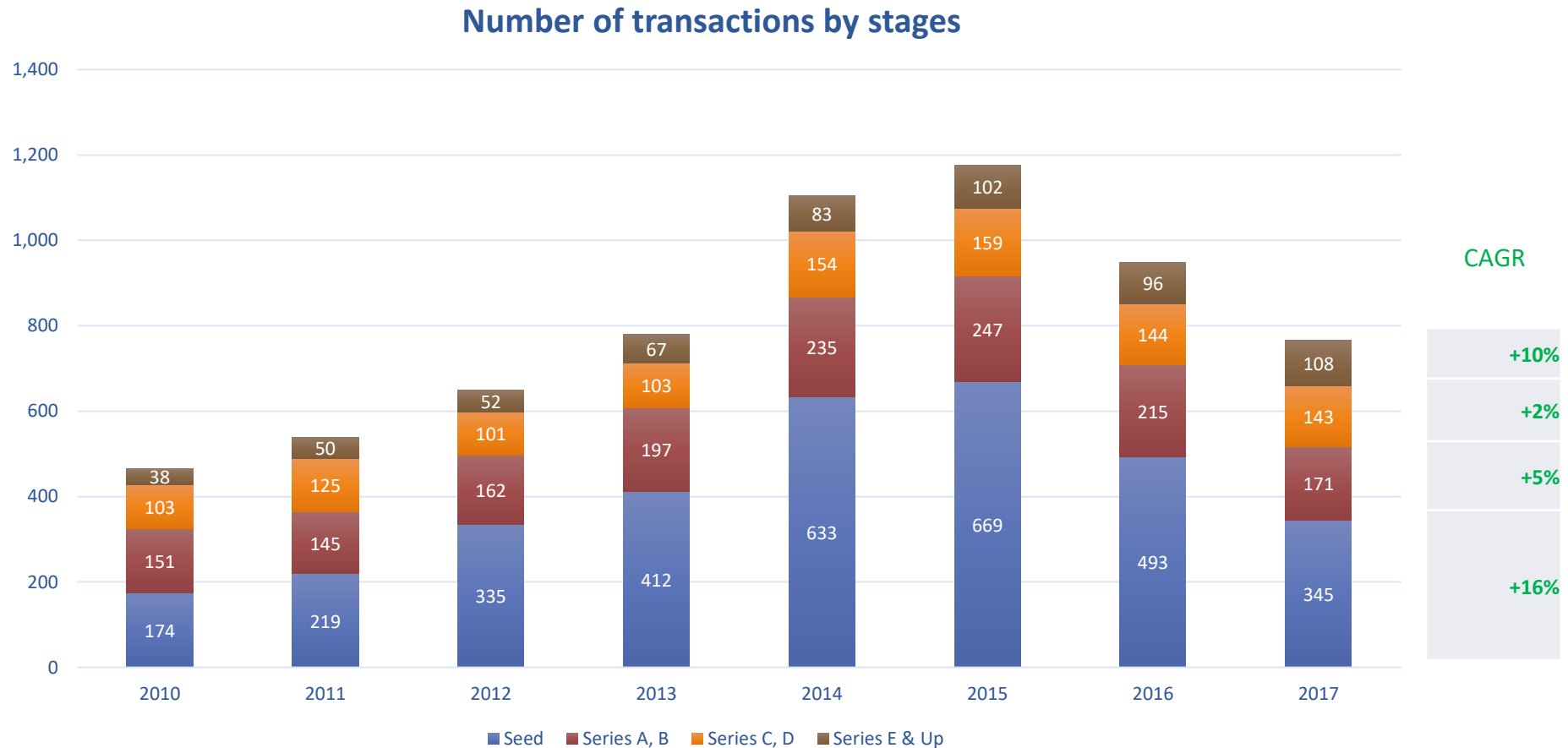
投資取引数の推移 (2010-2017年) : 南CA

南カリフォルニアにおける投資取数は2014年、2015年に増加した。2016年、2017年にはシード企業の創設数（申告ベース）が落ち込んだことから、企業数が減少した。



ステージ別投資取引数推移 (2010-2017年) : 南CA

南カリフォルニアにおけるスタートアップ企業への投資件数は、全てのステージで増えているが、特にSeedステージ、Lateステージの投資が目立っており、持続的なエコシステムが形成されている。



投資取引数と業界ヒートマップ (2010-2017年) : 南CA

南カリフォルニアにおけるスタートアップ企業への投資件数から見ると、ソフトウェア、メディア・エンターテインメント、ヘルスケア、ハードウェア、バイオテクノロジーが上位5位の業界となっている。

Domain	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	Total
Software	80	108	120	159	207	232	185	147	1 238
Media and Entertainment	67	67	96	110	172	159	114	75	860
Health Care	85	77	74	81	132	149	113	79	790
Hardware	26	40	38	50	65	84	84	59	446
Biotechnology	58	54	49	52	54	66	57	40	430
Marketing	30	41	54	54	80	70	37	47	413
Analytics	26	27	39	57	60	75	57	49	390
E-Commerce	20	26	38	49	59	60	36	43	331
Advertising	20	31	29	30	52	42	19	18	241
Lifestyle	5	11	22	23	41	31	33	24	190
Transportation	4	22	13	19	15	31	25	29	158
Artificial Intelligence	1	2	8	14	20	27	24	34	130
Gaming	10	9	12	12	18	22	26	14	123
Consumer Goods	7	4	10	8	26	22	23	16	116
Retail	6	5	7	17	18	23	17	9	102
Internet of Things	5	2	3	11	16	20	19	17	93
FinTech	7	5	14	9	17	13	14	11	90
Machine Learning	1	1	4	6	13	13	11	12	61
Virtual Reality	2	1	6	4	5	9	19	12	58
Social Network	4	0	7	3	12	9	14	4	53
Augmented Reality	2	1	6	3	6	4	6	12	40
Robotics	0	0	2	1	3	12	9	9	36
Cyber Security	0	2	0	6	10	4	5	7	34
Bitcoin / Cryptocurrency	0	0	0	0	4	1	0	0	5
Total	466	539	650	779	1 105	1 177	948	767	

Source: Crunchbase data, Exa Innovation Studio, Inc. (EIS) Analysis

2. 南カリフォルニアでのスタートアップ°設立 の利点・魅力

南カリフォルニアでのスタートアップ設立の利点・魅力

① 全米第一位の経済圏

南カリフォルニアは、全米で圧倒的な実質GDPを誇り、全米第一位の経済圏である。

② 優秀な人材、エンジニアの確保

スタートアップ企業にとって、最も重要なのは優秀な人材の確保。シリコンバレーでは人件費が高騰し、優秀な人材の確保が難しくなっている。一方、シリコンビーチでは近隣の大学であるカリフォルニア工科大学、南カリフォルニア大学等の有名大学卒の有能なエンジニアを比較的安価に雇うことも可能。また、作曲家、映像クリエイター、ライター等のアーティストが集まっており、コンテンツ作成の人材探しも比較的容易である。

③ 適当な生活物価指数

シリコンバレー、ニューヨーク、ボストンと比較すると、物価、家賃、人件費等が安価である。

④ スタートアップ・エコシステムの確立

シリコンバレーから近いことから、従来はシリコンバレーからの投資・買収が進んでいたが、近年、多くのアクセラレーター、インキュベーターがシリコンビーチに設立され、シリコンビーチ内での投資・買収も盛り上がりを見せている。また、シリコンビーチを代表するSNAP INCのIPOも行われ、多くの資金が流れ込む等、シリコンビーチのスタートアップ・エコシステムが活性化してきている。

南カリフォルニアでのスタートアップ設立の利点・魅力

⑤ 新たなライフスタイルの発信源

南カリフォルニアでは、今までにもエコ、オーガニック、フィットネスといった新しいライフスタイルが生まれてきた。インフルエンサーが多く住んでいることもあり、南カリフォルニアから日々情報が発信されている。流行の発信源であるロサンゼルスから多くのインスピレーションを受けられると共に、ビジネス拡大に向けたインフルエンサーの有効活用が出来ることも南カリフォルニアならではの強みである。

⑥ 人々の多様なバックグラウンド

南カリフォルニアには様々な人種、所得層、職種の人々がいるため、多様な一般消費者の好みや流行に敏感でいられる。また、一般消費者を理解しターゲットを明確化したうえで、テクノロジーありきではない、ニーズに即したサービスの創出が可能となる。

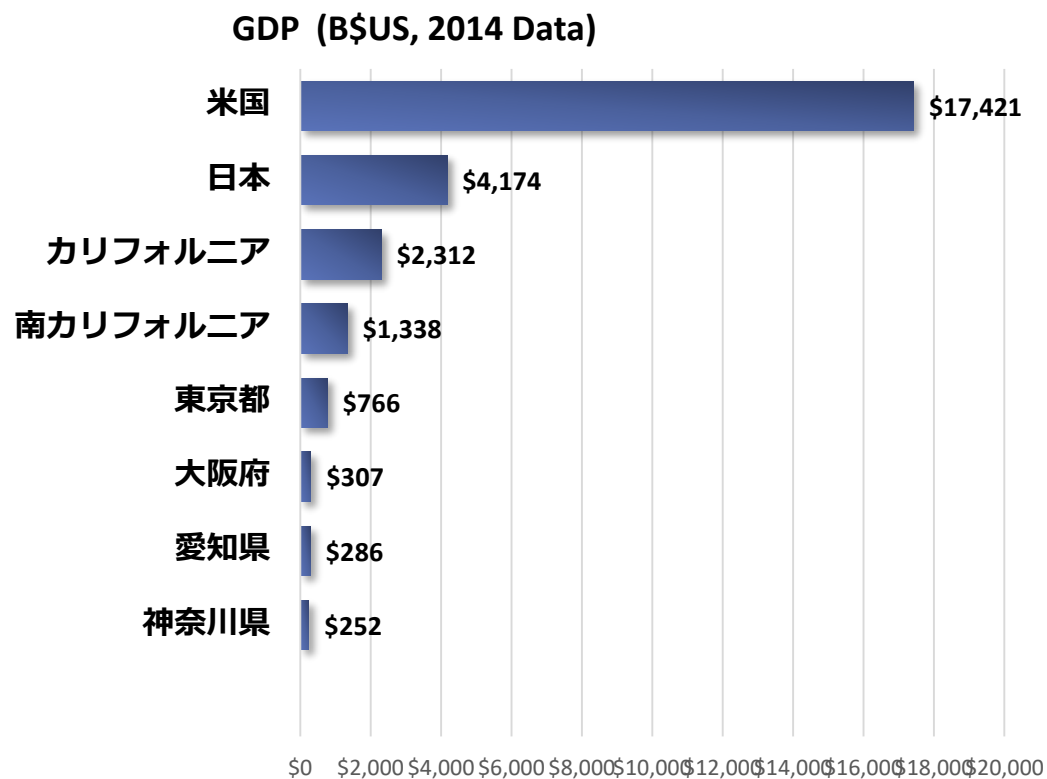
⑦ クリエイティブ分野における優位性

スタートアップの中心地であるシリコンバレーは、テック関連会社が集中しているため画一的になってきている。一方、シリコンビーチは、元々映画・音楽・テレビといったエンターテインメントやファッション業界等も盛んで様々な分野からの刺激・リソースも多く、テクノロジー分野に限らないスタートアップ企業も多い。

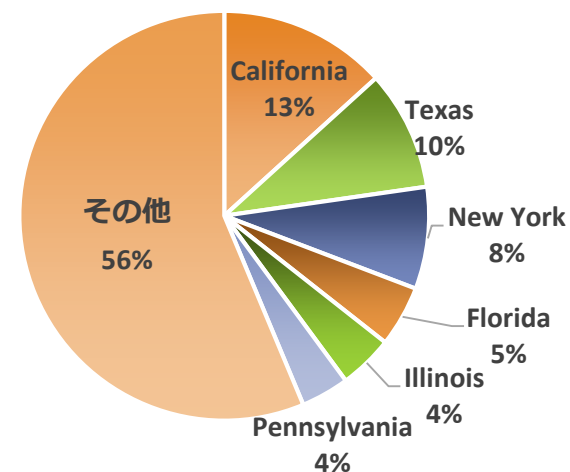
① 全米第一位の経済圏

カリフォルニアは北米全体のGDPの13.3%のGDPを占めるが、南カリフォルニアはそのカリフォルニア全体の58%のGDPを占める。

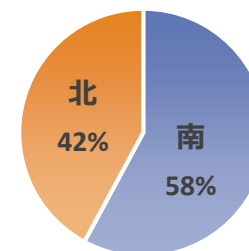
その規模は、東京都、大阪府、神奈川県合計に匹敵する。



主な州別GDP (B\$US, 2014 Data)



南北カリフォルニア州GDP (B\$US, 2014 Data)



情報元：米国国務省経済分析局、内閣府「県民経済計算」

② 優秀な人材、エンジニアの確保

優秀な人材の獲得に大きく貢献しているのが、北米トップレベルのエンジニアリング大学の存在である。南カリフォルニアには全米エンジニアリング大学ランキングで上位25に入る大学が5校あり、ロサンゼルス郡だけで年間11,000人と、全米最多のエンジニアを輩出している。



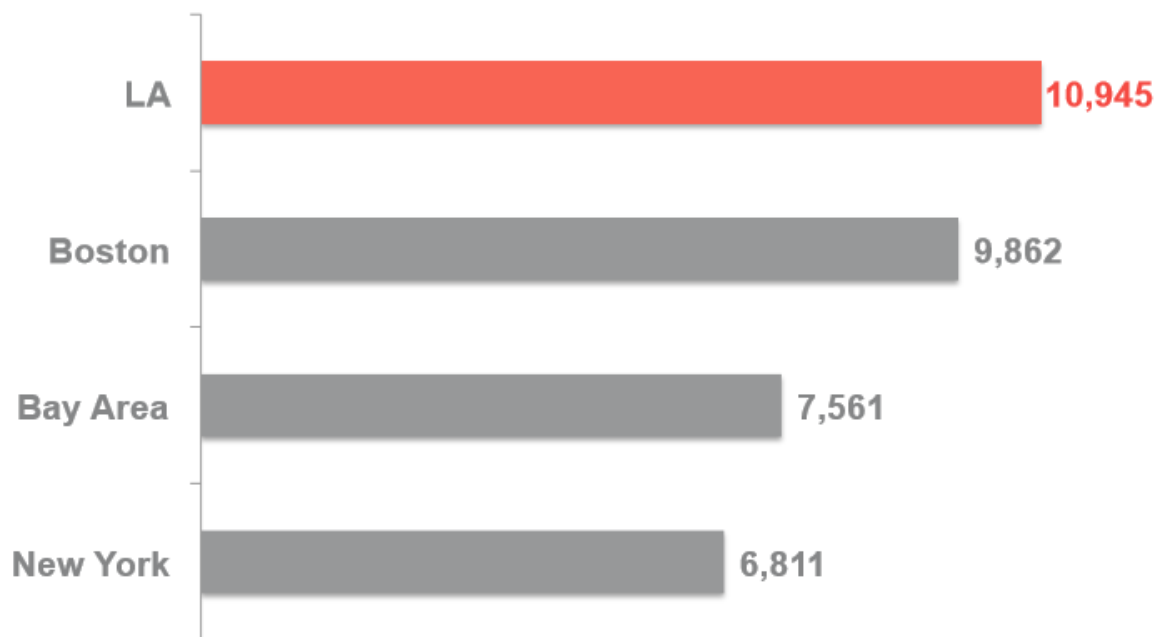
UCLA ENGINEERING
Henry Samueli School of
Engineering and Applied Science
Birthplace of the Internet

UC San Diego
Jacobs School of Engineering

USC Viterbi
School of Engineering

HARVEY MUDD
COLLEGE

Engineering Graduate Enrollment



情報元：US News & World Report, Accreditation Board for Engineering and Technology (ABET)のデータを元にUpfront Venturesが計算（都市圏から150マイル以内の大学院卒業生）

③ 適当な生活物価指数

内陸部の都市と比べると生活費が高いが、サンフランシスコ、ニューヨーク、ボストンなどの主要都市と比較すると安価である。生活費に比例して、主要都市に比べると人件費等も安価である。

		全米平均	San Francisco, CA	New York, NY	Boston, MA	Los Angeles, CA	Chicago, IL	Dallas, TX	Lexington, KY	Columbus, OH
価格 指数	生活費	100	184	167	144	142	113	98	93	89
	(対 Los Angeles)	-30%	30%	18%	1%	NA	-20%	-31%	-35%	-37%
	物品・サービス	100	115	151	127	105	106	114	101	96
	食品雑貨	100	124	121	108	106	108	107	96	90
	ヘルスケア	100	119	117	124	109	100	104	94	97
	賃貸	100	339	233	187	220	127	78	88	79
	交通費	100	131	138	116	120	112	90	95	83
	光熱費	100	108	133	156	112	104	104	80	96
月額 平均	家賃	郊外のアパート(1ベッドルーム)	\$2,663.24	\$1,830.32	\$1,468.97	\$1,728.20	\$1,015.06	\$668.79	\$712.28	\$679.91
	光熱費	約85㎡アパート(電気、加熱、水、ゴミ処理含)	\$115.29	\$141.62	\$166.11	\$119.25	\$111.12	\$110.74	\$85.19	\$102.22
	ミルク	1リットル	\$1.24	\$1.11	\$0.94	\$1.00	\$0.87	\$0.80	\$0.78	\$0.74
	パン	1斤	\$4.38	\$3.27	\$3.35	\$2.81	\$2.81	\$2.74	\$1.58	\$2.10
	レストラン	2人分、中レベル、3コース	\$75.00	\$80.00	\$60.00	\$55.00	\$69.50	\$45.00	\$50.00	\$45.00

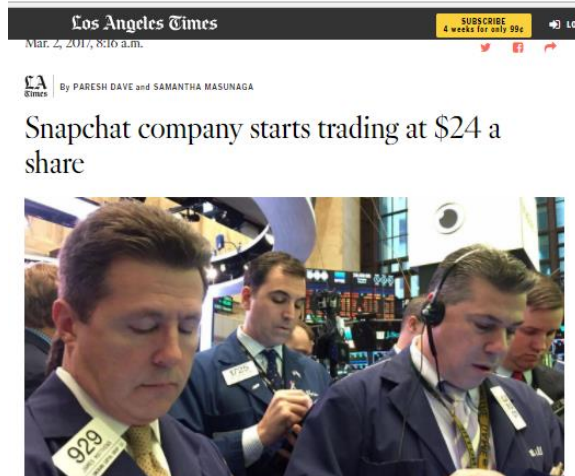
情報元：areavibes.com、numbeo.com、Exa Innovation Studio, Inc.(EIS) 調査 (2015年12月1日時点)

④ スタートアップ・エコシステムの確立

多くのアクセラレーター、インキュベーターがシリコンビーチ内に集まり、内部での資金の循環が進んでいる。また、南カリフォルニア出身で設立された企業の大きなExitやIPOなどが増え、資金が流れ込むようになった。

これにより、新たなアントレプレナーが出現したり、有能なエンジニアが集まったりと、相乗効果生まれ、Playa Vistaを中心としたシリコンビーチの存在感が高まっている。

Snapの\$30Billionを 超えるIPO



Unileverによる\$1Billionでの Dollar Shave Club買収



Amazonによる\$1Billion以上での Ring買収



⑤ 新たなライフスタイルの発信源

ロサンゼルスを中心として、エコ、オーガニック、フィットネスといった新しいライフスタイル、ビジネスが生まれてきた。コールドプレスジュースなど、アメリカ全土だけでなく日本でも人気を博したものも生まれている。



コールドプレスジュース



オーガニックスーパー



ファーマーズマーケット



フィットネス・ジム



ヨガ



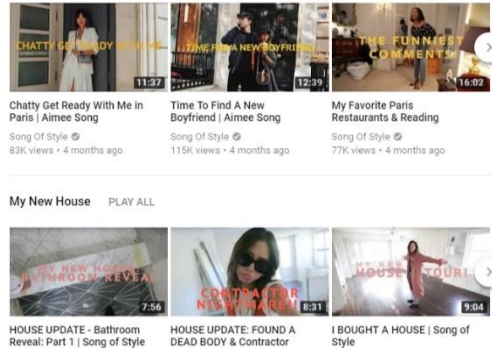
スケートボード・サーフィン

⑤ 新たなライフスタイルの発信源

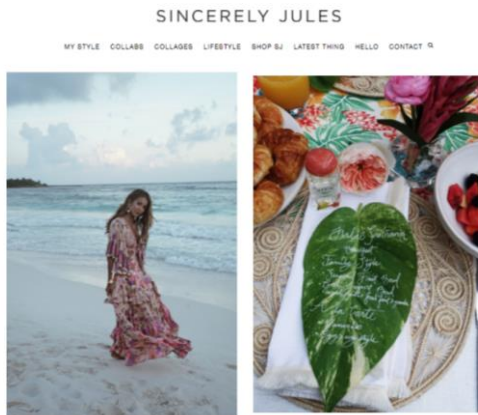
エンターテインメントの中心であるロサンゼルスにはインフルエンサーも多く、日々多くの情報が世界に向けて発信されている。企業もマーケティング戦略としてインフルエンサーを活用している。



Instagram

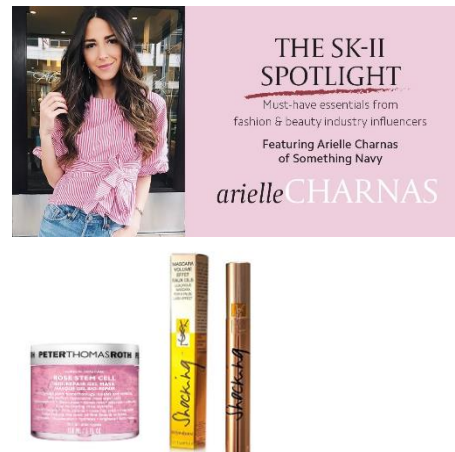


YouTube



Tulum Getaway with AERIN.

ブログ



企業とのコラボレーション

Instagram、ブログ、YouTube、Snapchatなどの媒体を通して情報を発信するインフルエンサーは、企業のマーケティング活動にとって欠かせない存在になっている。

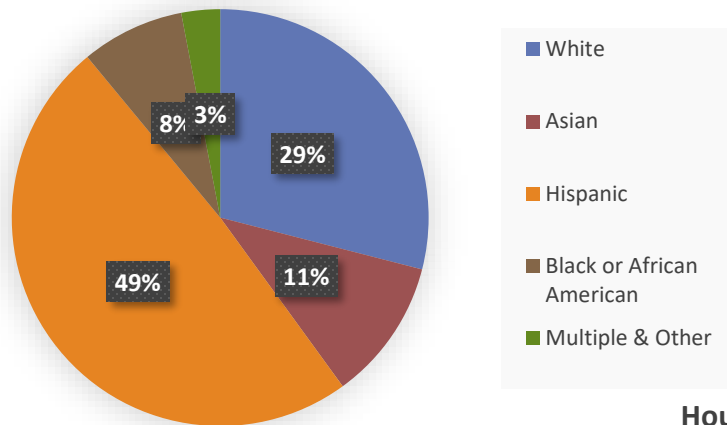
ライフスタイル、ファッション、ビューティー関連の情報を発信する Arielle Charnas は、Snapchat でフェイスマスクを紹介したところフォロワーからの大きな反響があり、1日で502ユニット（\$17,500相当）を売り上げた。また別の日にはマスカラを紹介し、一日で422ユニット（\$13,500相当）の売り上げに貢献した。

Arielle は大手企業とコラボレーションし商品を開発したり、ブランドのアンバサダーとして起用されたりもしている。

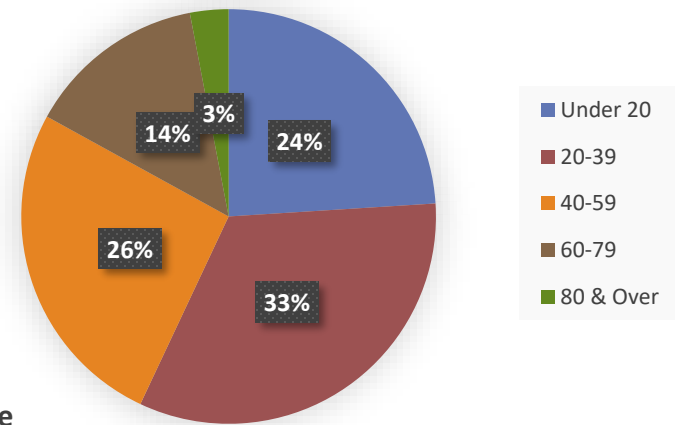
⑥ 人々の多様なバックグラウンド

ロサンゼルスカウンティの人種・所得層は様々で、比較的若い世代が多い。

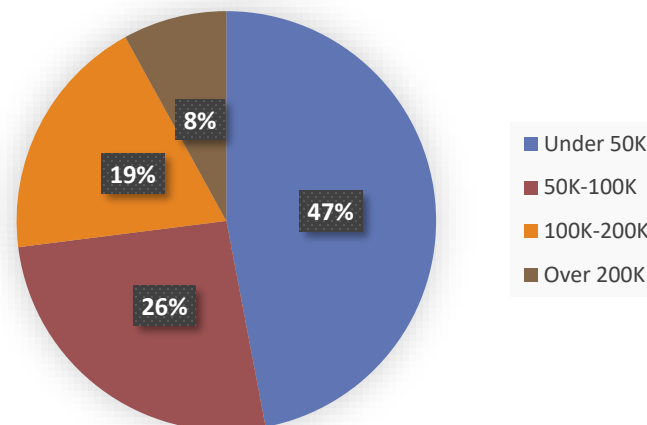
Los Angeles County Ethnic Composition



Los Angeles County Age Distribution



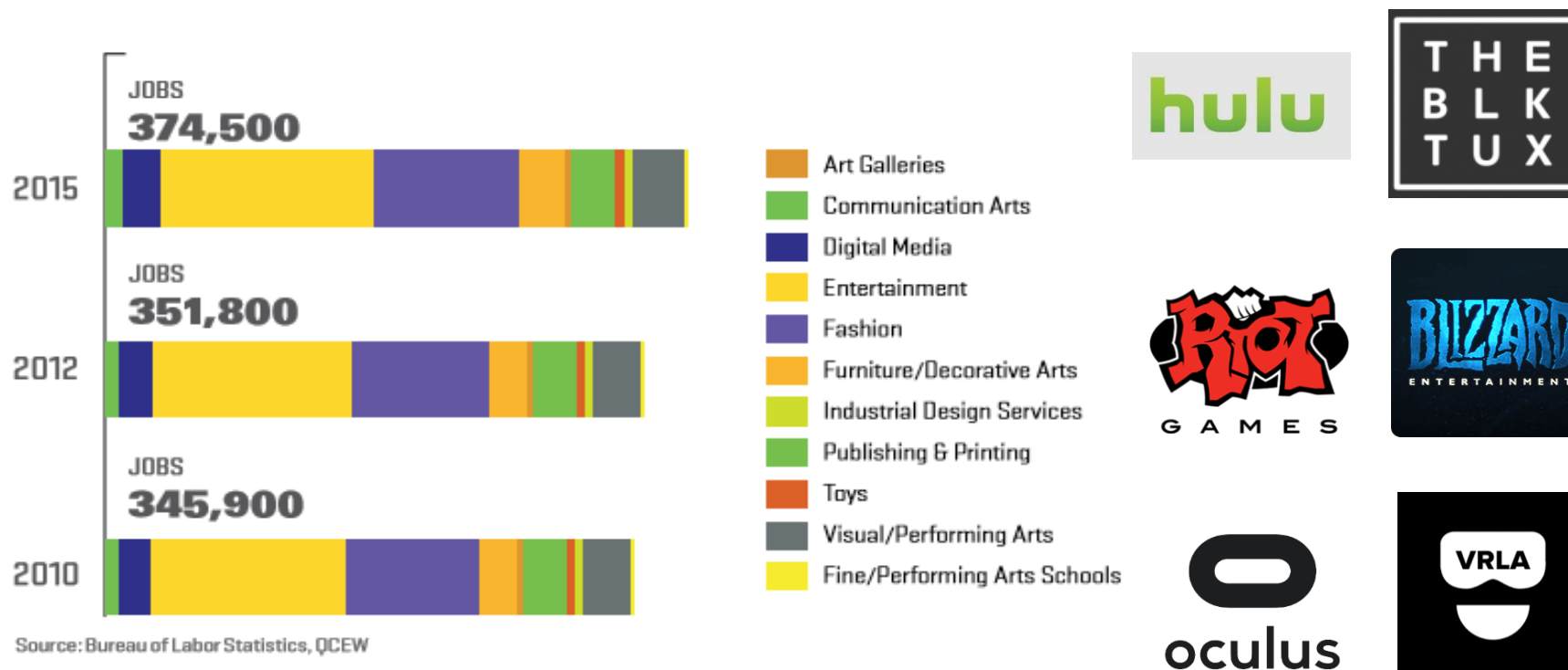
Household Income



⑦ クリエイティブ分野における優位性

南カリフォルニアは映画・音楽・テレビ・ファッションの分野が盛んで、クリエイティブ分野におけるスタートアップ企業も多い。

- ロサンゼルスにおけるクリエイティブ産業が生む年間経済効果はUS\$294B+である。
- オレンジカウンティを中心に50社以上のゲーム製作会社が集積している。
- 映画産業のクリエイターがVR/AR/CRの分野で活躍している。



3. 南カリフォルニアにおけるベンチャー企業例

南カリフォルニアでの注目度の高いビジネスモデル・製品・サービス

1. 新しいコンセプトのソーシャルメディア

新しいコンセプトのソーシャルネットワークなどが南カリフォルニアから多く生まれ、アメリカ国内だけでなく世界で親しまれるサービスへと成長している。

2. サブスクリプションモデル

忙しい人々の代わりに洋服や嗜好品をセレクト・自宅配送してくれるサービスや、消耗品を定期的に自宅配送してくれるサービスなど、サブスクリプションモデルと言われる定期購入のサービスを提供するスタートアップも多く見られる。

3. エンターテインメントの中心という地の利を活かした製品・サービス

エンターテインメントの中心という優位性を活かしたサービスも多く見られる。エンターテインメントのオンラインへの移行は進んでおり、いずれはTV市場の多額の資金がデジタル産業に流れるとも言われている。また、ロサンゼルスにはセレブリティだけでなくインフルエンサーも多く、彼らを対象としたビジネスも生まれてきている。

4. 自動車、モノのインターネット (IoT) などの分野で最新のTechnologyを用いた製品

自動車、IoTなどの分野において、“データ×マニュファクチャリング”を進める技術系の企業も南カリフォルニアに多く生まれている。

5. メディカル、バイオ分野で最新のテクノロジーを用いた製品

サンディエゴには、メディカル、バイオテクノロジーなどのスタートアップが多く見られる。

6. 先進的なライフスタイルから生まれた製品・サービス

健康志向、オーガニックといった南カリフォルニアの先進的なライフスタイルから、多くの製品・サービスが生まれてきている。

成功企業例：Snap

“消える”写真共有SNSでミレニアル世代の心をつかみ成功

数秒で消える写真や動画を送る写真共有アプリ、Snapchatを2011年にリリース。Snapchatは、従来の写真共有アプリと違い、送信者が1秒から10秒の間で閲覧時間を設定でき、閲覧時間の終了後は写真や動画は見られなくなるという特徴を持つ。仲間同士で気軽に写真を送りあえることがミレニアル世代の心をつかみ、人気が急速に高まった。

2015年にはCNN等のメディア媒体の記事の配信・宣伝をする“Discover”というサービスをスタートし、マネタイズの仕組みを構築した。2016年にはカメラがつきサングラス、Spectaclesの販売を始めた。どこに現れるか分からない移動式の自動販売機 Snapbotで販売を開始し、話題となった。2017年には友人の居場所がリアルタイムにマップ上で確認できる、Snap Mapというサービスも開始した。

2017年8月時点では、アプリには1億7300万人のアクティブユーザーがおり、毎日送信されるスナップの数は約30億枚にも上った。12歳から34歳が主なユーザーベースとなっており、女性ユーザーが男性ユーザー数を上回る。

Snapは2012年のLightspeed Venture Partnersからの485,000ドルの資金調達を皮切りに、数々の資金調達が成功させ、2017年3月2日に株式上場した。SnapのIPOはシリコン・ビーチのスタートアップエコシステムに影響を与えるものとなった。



成功企業例：Dollar Shave Club

大手メーカーが独占するカミソリ市場に
オンライン・サブスクリプションモデルで参入し急成長

P&G(Gillette)とEdgewell(Schick)の大手二社がシェアを争う寡占マーケットであるカミソリ市場において、定期購入という新たなコンセプトで成功したのが2012年設立のDollar Shave Club (DSC) である。

DSCは必要最低限の機能を持つカミソリを、他ブランドより安価な毎月\$3, \$6, もしくは \$9で配送してくれるサービス。大手メーカーが多額の広告費をかける中、DSCはオンラインでの安価な広告で対抗。大手メーカーが必要以上の機能や多大な広告費で商品の価格を釣り上げていることに言及するなど、挑発的なメッセージをYoutubeで配信した。動画は2400万回再生され、短期間でのブランド周知を促した。

DSCは、耐久性のパーツ（ハンドル）と消耗性のパーツ（替え刃）を組み合わせ、消耗品の販売で収益を上げていくビジネスモデルで顧客の囲い込みを実現させた。競合ブランドは小売りを介した販売のため、顧客情報の入手が難しいが、DSCは顧客のデータを蓄積し、ユーザーに応じたマーケティングをネット上で即座に打つことも可能である。

こうして会員数を順調に増やし2016年には300万人を超えた。2016年7月、Unileverにおよそ10億ドルで買収された。



成功企業例：FameBit

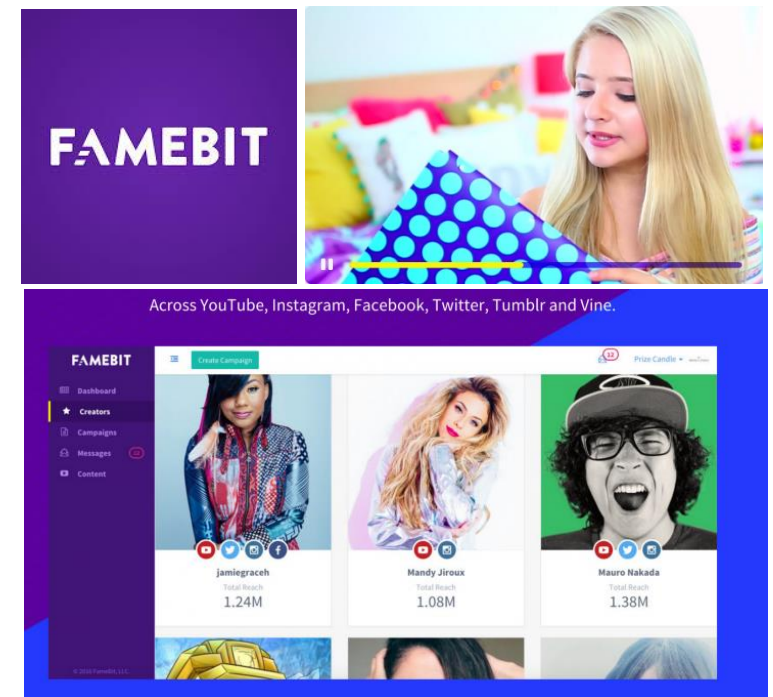
コンテンツクリエイターと企業を結びつけるプラットフォームを提供する Multi Channel Network

インフルエンサー・マーケティングの需要が増える中、YouTube
コンテンツクリエイターのマネジメントを行うMulti Channel
Network (MCN)にも注目が集まっている。

FameBitは、インフルエンサーを活用したマーケティング活動を行いたい企業と、クリエイターとをマッチングさせるプラットフォームを提供している。他MCNが上位1~2%のクリエイターを支援するビジネスを展開している一方、FameBitは、ロング・ミドルテールのクリエイターをスポンサー企業と結びつけるセルフサービス・マーケットプレイスを構築した。

コンテンツの魅力をより多くの企業に知ってもらいビジネスを成長させていきたいクリエイター達の需要を的確に捉えたサービスは高く評価され、FameBitは5万人を超えるクリエイターが登録する、世界でも有数のMCNへと成長した。企業は登録されたクリエイターの中から自社の製品やキャンペーンの目的にあったクリエイターを選ぶことができる。

2016年にはYouTubeを傘下に置くGoogleによって買収された。



成功企業例：Brain Corp

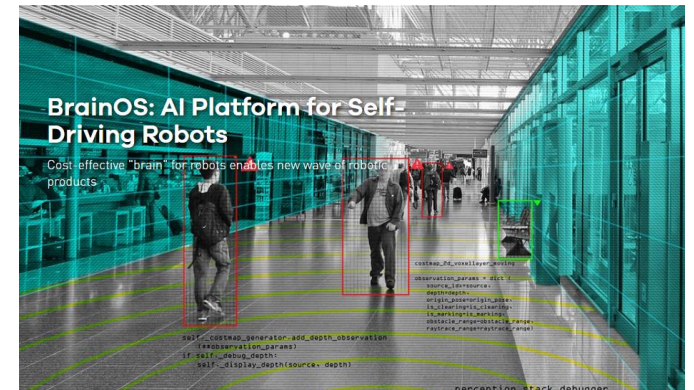
自動化ロボット、自動走行車を実現するAIプラットフォーム開発企業

Brain Corpは業務用機器を自動化する自律システムの開発に特化したサンディエゴに拠点を置くソフトウェア会社。

同社は2009年に世界的に有名な計算論的神経科学者であるEugene Izhikevich博士とシリアル・アントレプレナーであるAllen Gruber博士によって人工知能とロボット開発に焦点を当てて共同設立された。Brain Corpの初期の仕事には、Qualcomm Inc.やDARPAへの高度な研究開発などがある。AIを使った業務用掃除ロボットを開発しており、SoftBank Robotics Corpと提携し、日本市場向け商業クリーニングロボット事業に2018年夏より参入する。

Brain CorpのSeries C Fundingには、SoftBank Vision Fundがリードインベスターとして\$114 millionの投資を実施。

同社は現在、次世代の自動走行車のための高度な機械学習とコンピュータビジョンシステムの開発に注力している。



成功企業例：Ring

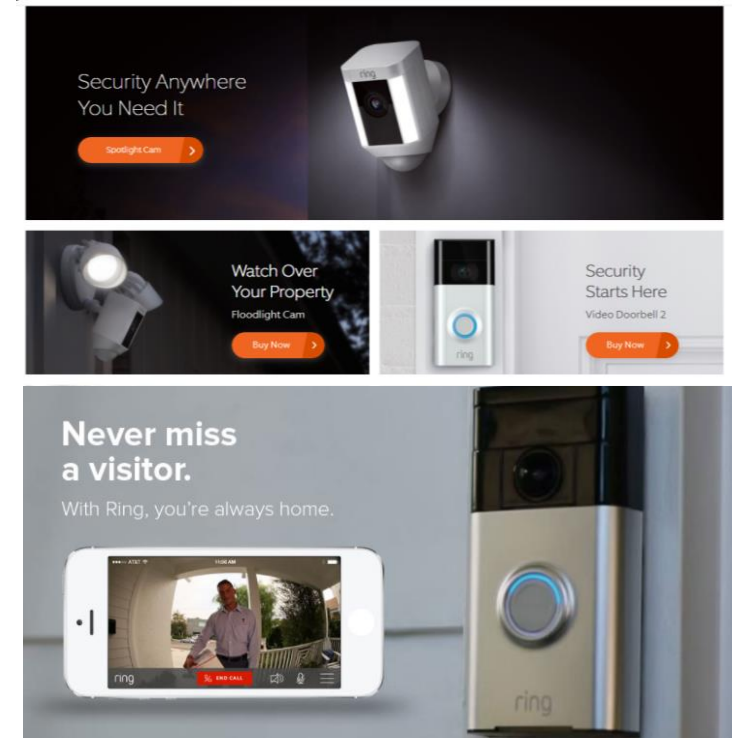
次世代IoTドアホンで急成長を遂げた企業

Ringは次世代のドアホンを開発し、急成長を遂げた企業。同社の製品を使えば、ユーザーがドアホンに装備された小さなカメラを通し、携帯のアプリ上でリアルタイムで玄関前の映像を見ることが出来る。

創業者のジェイミー・シミノフは2013年にテレビ番組「シャーク・タンク (Shark Tank)」(大物投資家にプレゼンし、出資を得る番組)に出演した。投資は得られなかったもののこれが良い宣伝となり、不在時の防犯に役立つドアホンとして消費者に受け入れられるようになった。

リブランディング後、リングはすぐにBest BuyやTargetといった大手小売での販路を獲得し、2015年には、ヴァージングループの創業者リチャード・ブランソン氏からの投資を得た。その後も数々の投資を得る中、2017年の売り上げは\$ 415 millionとなり、2018年には、Amazonによって\$1 Billion以上で買収されることとなった。

ring



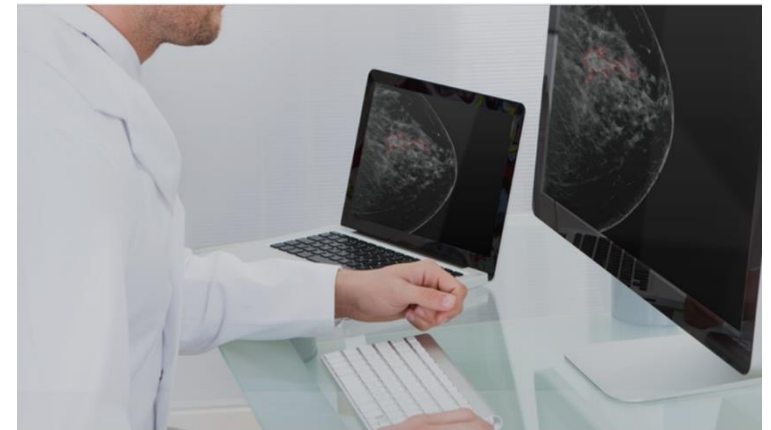
成功企業例：CureMetrix

人工知能とディープラーニングを用いた、次世代医療画像解析技術

2014年設立のCureMetrixは、人工知能とディープラーニングを用いた、次世代の医療画像解析技術の開発を行っている。医療従事者が乳がんのスクリーニング、治療、診断時に必要な、正確で客観的なデータを提供することを目指しており、世界中の癌患者の生存率を向上させる技術の進歩に貢献している。

CureMetrixは、特許申請中のアルゴリズムを使用し、マンモグラフィ画像解析用の精密機器を開発。スクリーニングおよび診断用マンモグラムにおける異常の正確な検出、定量化および分類が出来ることで、癌の早期発見を促す。

開発にあたっては、UC San Diego、MD Andersonがんセンター、Hoag Health Network、Johns Hopkins Universityなどの優れた機関と提携し、異常を検知するアルゴリズムの検証を行っている。



成功企業例：その他シリコンビーチの企業 1/2

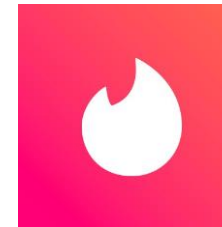
Hulu

Huluは、The Walt Disney Company (DIS), Comcast Corp. (CMCSA) and Twenty-First Century Fox, Inc (FOX) 出資による合併事業として2007年3月に設立された。NetflixがDVDレンタルサービスとしてビジネスをスタートさせたのと違い、Huluは、ビデオストリーミングサービスとしてビジネスをスタートさせた。月額会員費と広告費用から収益を得るモデルで、現在は1700万番組を配信し、総会員数は5400万人以上となっている。



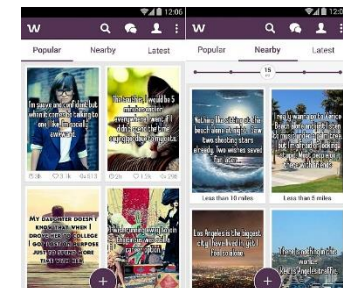
Tinder

Tinderは位置情報を入力し写真で相手を選ぶ、2012年リリースのデートアプリ。スマートフォンのスワイプ機能を利用し、次々に現れる相手の写真をYesかNoか直観で仕分けし、マッチングするというアイデアが受け、今では世界5000万人が利用している。



Whisper

Whisperは周りの人には言えない本音や悩み・相談を匿名でささやく、2012年リリースの投稿アプリ。匿名のアプリは他にもあるが、Whisperはコンテンツ作成のためにAIへの積極投資を行ったり、各メディアとのパートナーシップ構築を進め、収益化モデルを確立させたりしてきた。現在世界187か国で親しまれており、2億5,000万人の月アクティブユーザーを有する人気のあるアプリとなっている。



成功企業例：その他シリコンバレーの企業 2/2

Riot Games, Inc.

インディーゲームディベロッパーが2006年に設立したロサンゼルスオンラインゲーム会社。代表作となるLeague of LegendsはFree to Playモデルを確立した。コアなゲーマーの間で人気を博し、現在はひと月のアクティブプレイヤー数が一億人まで増えている。Riot Gamesはe-Sportsの大会を世界中で開催しており、賞金総額は5億円にも上る。2015年に中国テンセントに買収された。



The Honest Company

化学成分を使わずに子供たちが安心して使える商品をテーマに、女優のJessica Albaがビジネスパートナーと共に立ち上げたブランド。天然成分を中心に作られたベビーケア商品、バス・ボディ商品、サプリメント、ホーム・キッチン商品等を販売しており、200億円企業へと成長した。



Oculus

Virtual Reality領域のリーディング企業。開発キットを様々な企業に安価で提供し、ハードとソフト開発に共同で取り組む。2014年、Facebookが約2230億円で買収した。

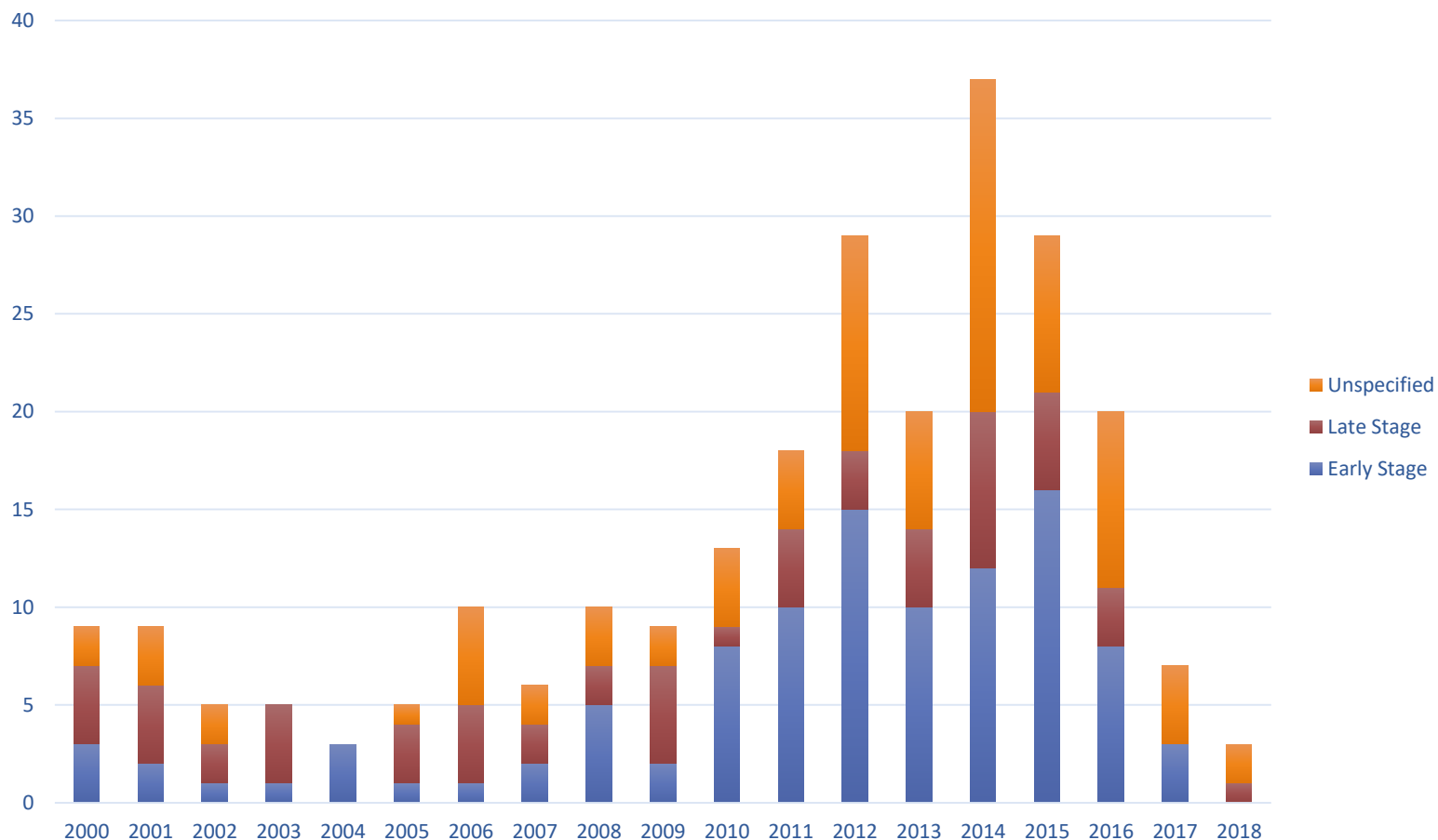


4. アクセラレーター・インキュベーター

投資会社（VC、アクセラレーター・インキュベーター等を含む）創設数の推移（2000-2018年）：南CA

2000年以前には南カリフォルニアには187社の投資会社が存在しており、2010年から2016年にかけて急成長を遂げている。（パブリックデータを利用しているため、全てを網羅しているわけではない）

VC creations in South California



南カリフォルニアの主なアクセラレーター・インキュベーターリスト（アルファベット順）

Company	Location	Overview	Funding	Representative Companies	Website
Amplify	Venice	Seed資金、追加資金とアドバイスの提供でスタートアップのビジネス拡大をサポート。カリキュラムベースのアクセラレーターで、オフィススペースも提供。	4-8ヶ月のアクセラレータプログラムの場合、Amplifyはシード資金に\$50,000-\$200,000を投資し、無料のワークスペースとメンターシップを提供している。	Winc, Gem etc.	http://amplify.la/
Arena Ventures	West Hollywood	ロサンゼルス、サンフランシスコのSeed、Growth投資を行う。	Undisclosed	Fitmob, Evertoon etc.	https://arenavc.com/
Connect	San Diego	スタートアップ企業の人材・資金調達支援、ミッドマーケット向けのイベント開催などを行う。	Undisclosed	DermTech, Everyone Counts etc.	https://www.connect.org/
Disney Accelerator	Los Angeles	エンターテインメントとテクノロジーの世界に影響を与える、テクノロジーベースの新興企業に投資。	6%の普通株式の場合、\$20,000の資金を提供。	Atom Tickets, Brit + Co etc.	https://disneyaccelerator.com/
EvoNexus	San Diego	Irvine, San Diegoに拠点をもち、技術系スタートアップを支援。	Undisclosed	Bioliq, Edico Genome, etc.	https://evonexus.org/
Idealab	Pasadena	1996年に設立されたIdealabは、150以上の企業の立ち上げ、45社の買収やIPOを支援。	Undisclosed	NetZero, Fair etc.	https://www.idealab.com/
K5Launch	Los Angeles	南カリフォルニア、シリコンバレー、中国の技術ベンチャーに投資。	Undisclosed	Flipagram, Truevault etc.	http://k5ventures.com/
KohFounders	Los Angeles	デジタルヘルスケア、モバイル、IoT、ソフトウェアの初期段階の企業への投資を行う。	Undisclosed	Clora, Wealth etc.	http://kohfounders.com/

南カリフォルニアの主なアクセラレーター・インキュベーターリスト（アルファベット順）

Company	Location	Overview	Funding	Representative Companies	Website
LACleanIncubator	Los Angeles	米国市場に参入しようとする国際企業や、早期段階のクリーンテクノロジー企業への投資を行う。	Undisclosed	AYYEKA, Rain systems etc.	https://laincubator.org/
LaunchpadLA	Santa Monica	Seed資金、オフィススペースを提供。また技術系のネットワークに強みを持つ。	\$25,000-\$150,000	ChowNow, Parachute etc.	http://launchpad.la/
MedTech Innovator	Los Angeles	医療機器等を扱う企業のためのグローバルコンペの開催も行う非営利アクセラレーター。	MedTech Innovator's competitionの勝者に\$500,000を提供。	Alleviant Medical etc.	https://medtechinnovator.org/
MuckerLab	Santa Monica	6か月～12か月のプログラムを提供。インターネットソフトウェア、サービス、メディア関連のSeed、Pre Seedスタートアップ向け。	MuckerLabは、6%から8%の持分を持って、通常\$20,000を投資する。	Wallaby, The Black Tux etc.	http://www.muckercapital.com/
O Labs Ventures, LLC	Los Angeles	ソフトウェア、商品開発、法律、戦略などの専門知識を活かし主にテクノロジー企業への投資を行う。	Undisclosed	Versus etc.	http://olabsventures.com/
Science, Inc.	Santa Monica	E-commerce, Blockchain, メディア、モバイルセクターに焦点を当てている。	Undisclosed	Dollar Shave Club, DogVacay etc.	https://www.science-inc.com/home.html
Techstars LA	Los Angeles	世界中に広がるネットワークを活かしスタートアップを支援。	\$100,000の転換社債が提示される。また、6%の持分を持って、\$20,000を投資する	Hearbeat, Playful etc.	https://www.techstars.com/programs/los-angeles-program/
Viterbi Startup Garage	Marina Del Ray	12週間の技術アクセラレータプログラムで、資金と戦略メンターを提供。	10%資本と引き換えに資本金\$50,000、ワークスペースを提供。	MediaHound etc.	http://viterbiinnovation.usc.edu/

代表的なアクセラレーター・インキュベーター：Science



- Myspaceの元CEOであるMike Jonesが率いるインキュベーター。2011年設立し、現在までに7社以上のExitに成功している。
- Eコマース、ブロックチェーン、マーケットプレイス、メディア、モバイルセクターに焦点を当てている。
- 資本、戦略支援、事業育成支援、オフィススペースなどを提供し、初期段階のスタートアップ企業のビジネスをサポートしている。



Dollar Shave Club

カミソリの定期購入サービスを提供。Unileverによって買収。



FameBit

Youtubeコンテンツクリエイターと企業を結び付けるマーケティングプラットフォーム。Googleによって買収。



Hello Society

インフルエンサーと企業間の戦略的パートナーシップをサポート。The New York Timesによって買収。



DogVacay

一般家庭が愛犬の宿泊先になる犬版Airbnb。Rover.comによって買収。



Earny

購入したものの金額がセール等で下がった場合、差額が購入者の元に支払われる様、手続きを自動的に行ってくれるアプリ。



August Home, Inc.

鍵の代わりにスマートフォンを使う、新しいホームアクセスシステムを提供。ASSA ABLOY Groupによって買収。

代表的なアクセラレーター・インキュベーター：Idealab



- 1996年に設立されたBill Gross率いるIdealabは、アメリカで最も長い歴史を持つ技術インキュベーター。150社以上の創設と、45社以上のIPO・買収に携わって来た。



ChangeTip

インターネット上でのマイクロペイメントを行うためのインフラストラクチャー。Airbnbによって買収。



Evolution Robotics

自律ナビゲーションロボットシステムのデザイン、構築を行う企業。iRobotによって買収。



GoPollGo

リアルタイムの投票ツールで、ブランドやメディアがフィードバックを収集して分析できるようにする。Yahoo!によって買収。



Picasa

画像オーガナイザー、画像ビューアーを使用して、デジタル写真を整理および編集するツール。Googleによって買収。



Tint

ソーシャルメディアでの投稿を企業が集約、管理し、自身のウェブサイト、アプリ、Facebookなどで表示できるようにするプラットフォーム。



ObEN

未来のデジタル世界に向けて、消費者や有名人のための仮想アイデンティティを作るAI企業。

代表的なアクセラレーター・インキュベーター：Connect



- 1985年に設立されたアクセラレーター。サンディエゴに拠点を置き現在までに3000社の企業の支援をしてきた。スタートアップ企業の人材・資金調達支援、ミッドマーケット向けのイベント開催などを行う。CEOのGreg Mackeeは日本に精通しており、日本の企業・都市・大学などとの連携も始まっている。



DermTech

皮膚がんを検知する分子分析のために皮膚から粘着テープ生検法でRNAを採取する、パッチ皮膚生検キットを開発・販売している。



Everyone Counts

有権者登録、オンライン投票、リモートアクセス可能投票（RAV）などのWebベースの投票ツールを提供している。



Freedom Meditech

慢性疾患の検出および糖尿病の管理を可能とする眼科医療機器の開発・販売を行っている。



Librede

カンナビノイドを酵母から生産できる新技術を開発している。



Events.com

イベント参加者の管理、チケット販売、マーケティング、開催後の分析などをスムーズに行えるクラウドベースのアプリ。



ElliptiGo

室内用エリプティカル・トレーナーと屋外用自転車の移動性を組み合わせたトレーニング機器を開発・販売している。

代表的なアクセラレーター・インキュベーター：EvoNexus



- 1998年に設立されたTech系インキュベーター。サンディエゴとアーバインに拠点を置く。オレンジカウンティ不動産最大手のIrvine Companyと提携し、メンターシップ、資金、オフィススペースの提供でスタートアップを支援している。



Aira

視覚障がい者が自由で自立した生活を送れることを目指し、小型化されたセンサー、ウェアラブル機器、AIなどを駆使したプラットフォームを開発。



Edico Genome

次世代シーケンス・バイオインフォマティクス解析を行う、DRAGEN Bio-IT Processorを開発。



Arctica Health

人工 intelligence に基づいた予測分析をメンタルヘルスの分野に活かし、患者の気分の変化を予測し、危機を予防・回避する。



Biolinq

ナノバイオセンサーを用い、糖尿病患者が血液を採取することなく、リアルタイムかつ連続的なグルコース測定を可能にするグルコース検出ソリューションを開発。



Kadho

人工 intelligence を基にしたアルゴリズムを利用した、子供の言語学習モバイルプラットフォームを開発。



Groguru

リアルタイムで土壌水分、塩分、温度データを提供することで、生産者の効率的な水資利用とコスト管理を支援。

代表的なアクセラレーター・インキュベーター：Plug and Play

PLUGANDPLAY

- PayPal, Dropboxなどの初期投資家として知られるSaeed AmidiによってSunnyvaleに設立されたアクセラレーター。現在は日本、ロサンゼルスも含む世界26箇所に拠点をもち、南カリフォルニアの企業にも投資を進めている。



BookingPal

バケーションレンタルのためのグローバルな情報配信システムと予約プラットフォームを提供。



Albert

ユーザーの銀行アカウントやローン情報などを一括管理し、個人の財務状況を分析、より良い財務管理のアドバイスをしてくれるアプリ。



Agribody Technologies, Inc.

食物収穫量増加に向け、遺伝子植物技術を用いた作物の遺伝子工学やゲノム編集の研究・開発を行うバイオテック企業。



OWKIN

実際の患者データを基盤に、人工知能やマシーンラーニング技術を用い、創薬研究開発に取り組んでいる。



Flo Technologies

家庭の水道システムの小さな漏れや脆弱性を検出するスマートな水の監視・遮断システムを提供。



Tomorrow Ideas

遺書の準備、生命保険の購入、家族の財務整理が一括で出来るアプリ。

代表的なアクセラレーター・インキュベーター：Startup Boost



Startup Boost

シード段階のスタートアップ企業向けのビジネス・アクセラレーターで、資金調達から収益化までを実現するメンターシップ・プログラム。レクチャー、ピッチコーチング、メンターシップに加えて、トップアクセラレータ、シード投資家、インダストリーパートナーとの結びつけも行う。世界6拠点を主催。

<http://www.startupboost.org/>



Accelerators

We partner with accelerator programs to screen & prepare startups for their programs



Investment

We prepare our teams for investment through business model refinement & connections



Revenue

We help put our startups on a scalable revenue trajectory

代表的なアクセラレーター・インキュベーター： Disney Accelerator

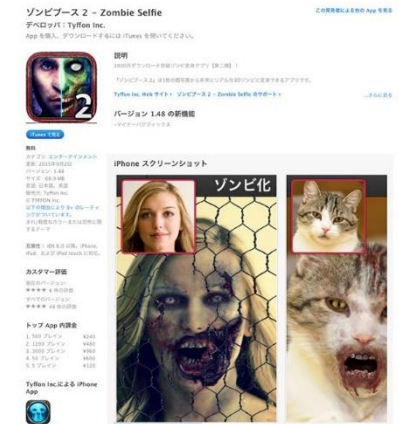


- スタートアップアクセラレーターとして知られるTechstarsと組んで、15週間にわたって行われる。
- Disney Acceleratorは、参加企業に、投資資金、ディズニーのクリエイティブキャンパスにおける共同作業スペースへのアクセス、ディズニーのノウハウや最先端技術へのアクセス、エンターテインメントおよびテクノロジーコミュニティのトップディズニーエグゼクティブ、起業家、投資家および他の有名なビジネスリーダーからの指導者のサポートと指導を提供する。

TYFFON

Tyffon : Disney Acceleratorに採択された、日本のベンチャー企業

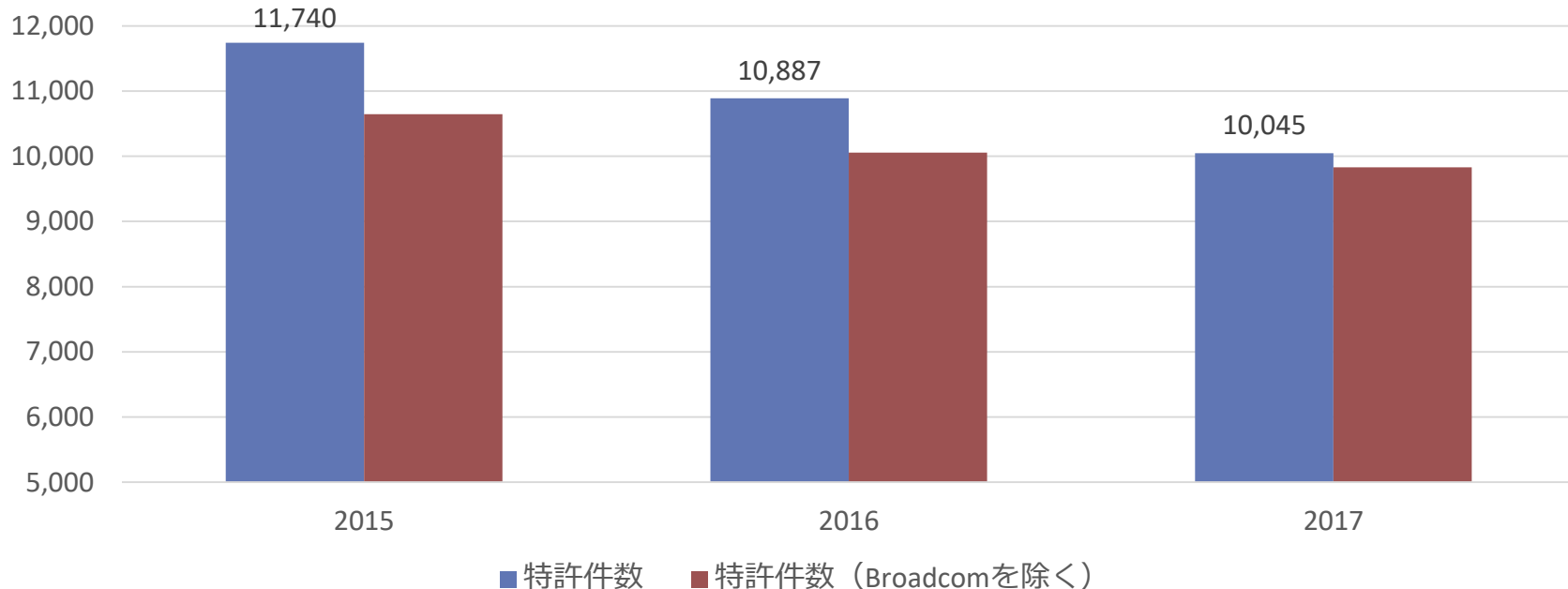
- 2014年度、Disney Acceleratorに採択された、日本のベンチャー企業「Tyffon (ティフォン)」は、ポートレート写真をリアルな3Dゾンビに加工する“ゾンビブース2”や、ゾンビSNS“NECRODIA”など、累計3500万ダウンロードを誇るスマホアプリを提供するスタートアップ企業である。
- 出資に加え、クラウドサーバーのAWSの2万ドル分無料使用、Google App Engineも10万ドル分の無料使用といった特典を享受した（2014年当初）。ディズニーとのコネクションだけでなく、ディズニーが持つネットワークを通じて出会う人や企業とのコネクションも、本プログラムの魅力である。
- 同社は、Disneyの豊富な知的財産の利用に加え、Pixar、Marvel、LucasfilmやESPNなどのDisney子会社のキャラクターや資源などにアクセスも活かし、Show Your Disney Sideのリリースも行った。



5. 特許・営業秘密

南カリフォルニア 特許件数3年間推移（公開日ベース）

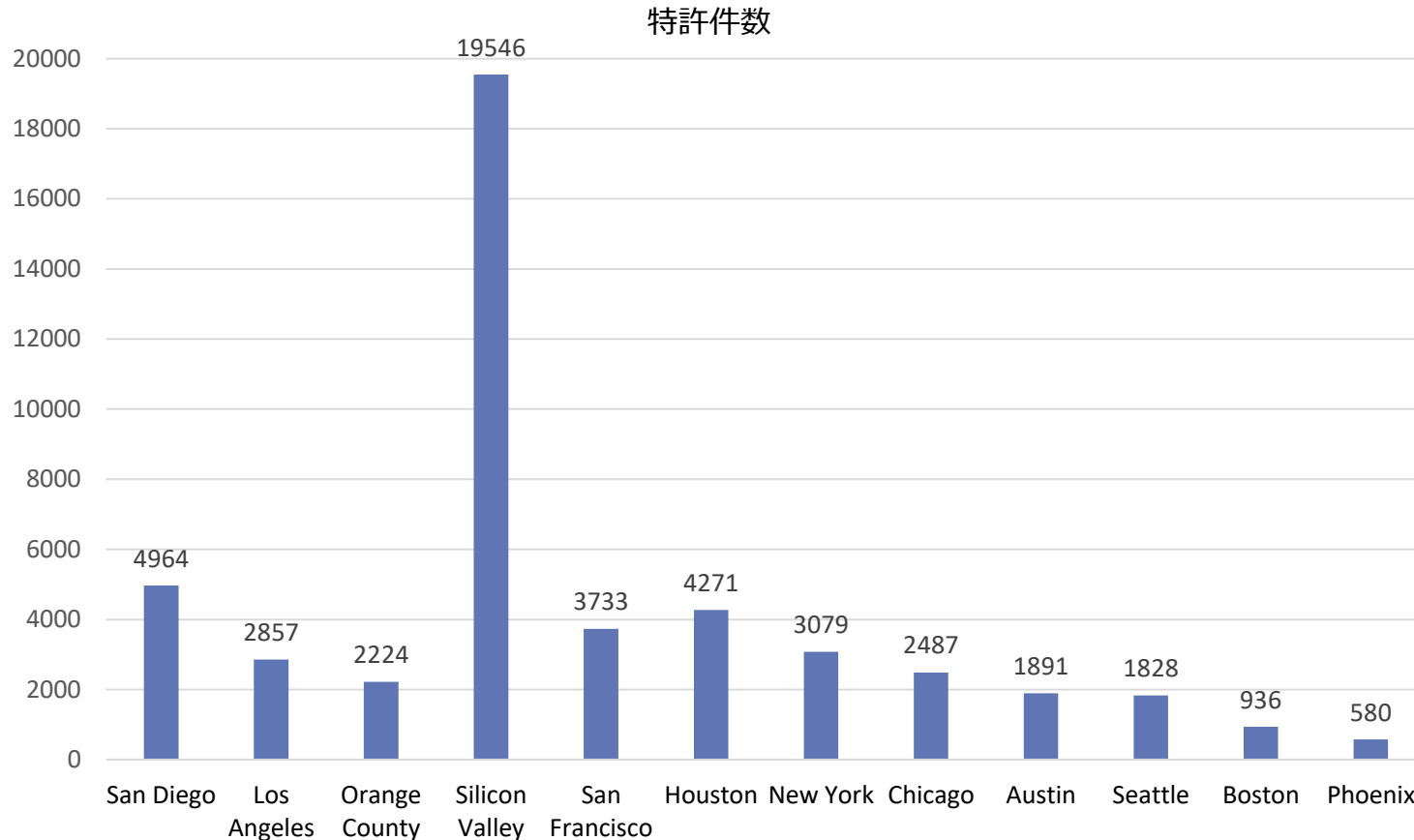
出願件数は3年間で減少しているように見えるが、これはBroadcomの出願件数の減少*が大きく影響している。（2015：1093件、2016年829件、2017年216件）これを除くと、ほぼ横ばいと言える。



* 2016年半導体業界再編（1年間で1000億ドル越えの買収総額）の中、Avago TechnologiesがBroadcomを370億ドルで買収し（存続会社の社名は”Broadcom”）、買収完了後、新生Broadcomは直ちに事業構成の見直し、再編に着手。旧Broadcomの事業の一部を整理し、R&D体制に変更・見直しがあったため、それが特許出願変数の減少に影響したと考えられる。

都市別特許件数比較 (CY2017)

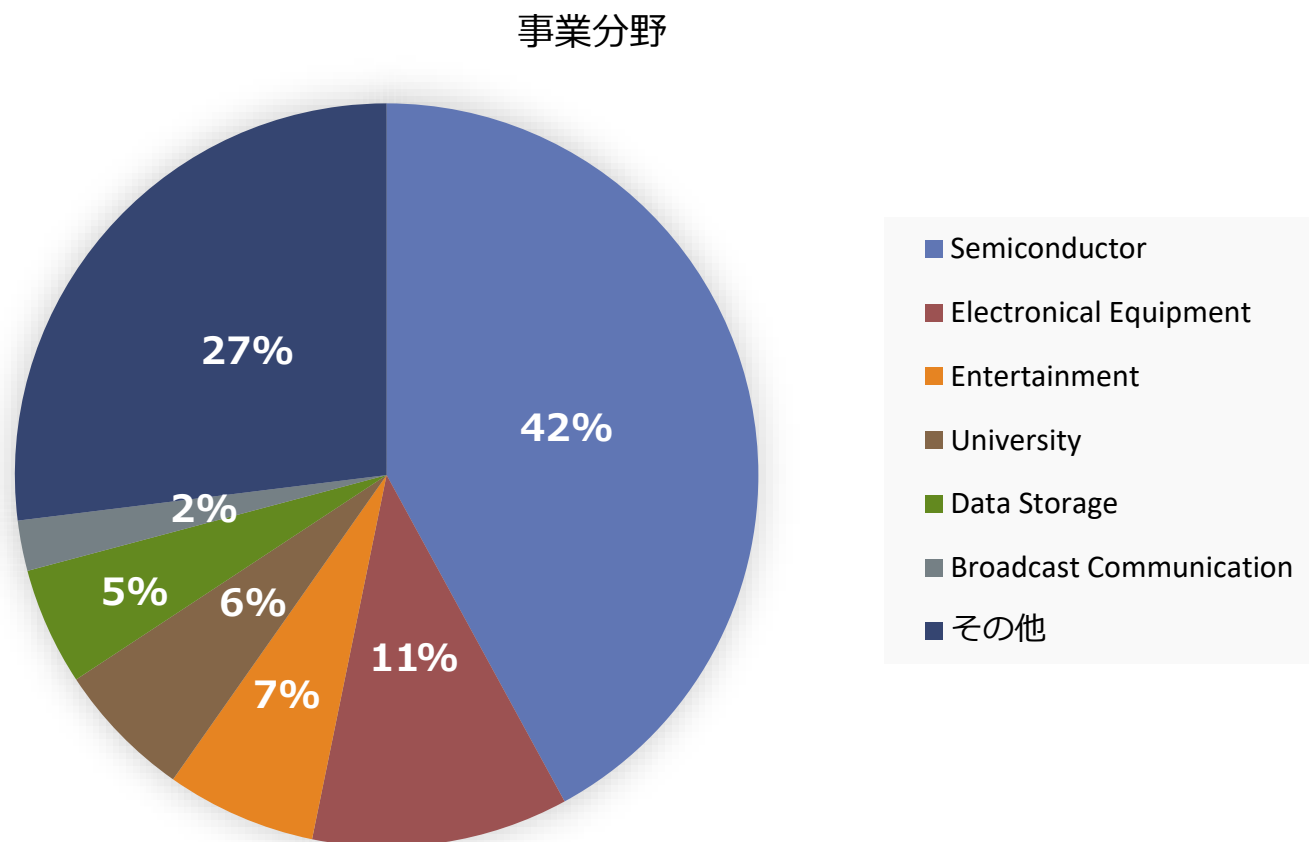
シリコンバレーは出願件数が多いが、それと比較してもSan Diego一都市の件数が多いことが分かる。



- Los Angeles: Los Angeles, Torrance, Pasadena, Burbank, El Segundo, Santa Monica, Glendale, Beverly Hills, Calabasas, Culver City, Hollywood, Westlake Village, Long Beach, Manhattan Beach, Marina Del Rey, West Hollywood
- Orange County: Irvine, Santa Ana, San Clemente, Aliso Viejo, Newport Beach, Costa Mesa, Anaheim, Garden Grove
- Silicon Valley: San Jose, Mountain View, Cupertino, Sunnyvale, Palo Alto, Menlo Park, San Mateo

事業分野別チャート：南CA

QualcomやBroadcomといった、半導体メーカーが南カリフォルニアに本社を持つため、半導体分野の特許出願を多い。また、電子機器や、エンターテインメントの分野にも多くの特許が出願されている。



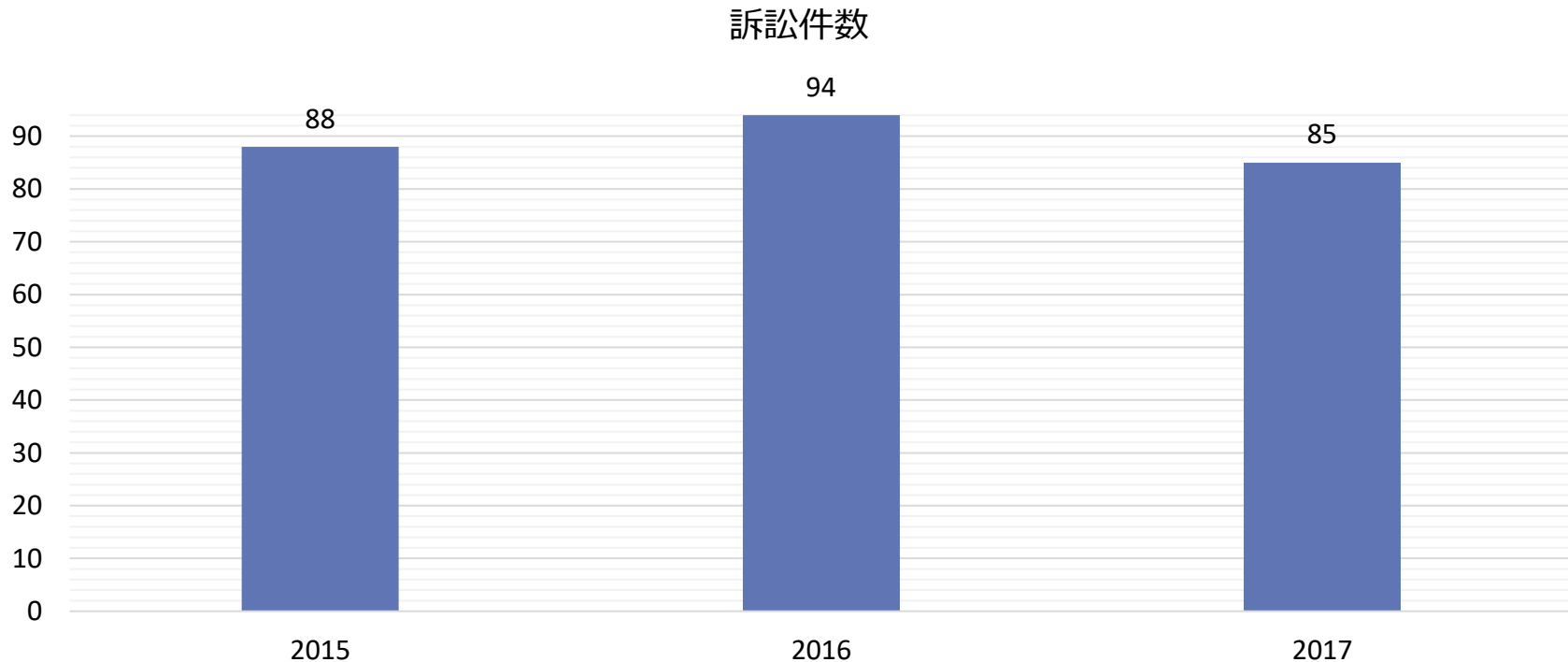
権利者 Top 10 : 南CA

半導体メーカーである、QualcommとBroadcomが上位を占める。
また、PanasonicもTorranceに知財管理会社をもつため、そこでの出願件数も多い。

- 1 QUALCOMM Incorporated (San Diego, CA, US)
- 2 Broadcom Corporation (Irvine, CA, US)
- 3 Panasonic Intellectual Property Corporation of America (Torrance, CA, US)
- 4 Disney Enterprises, Inc. (Burbank, CA, US)
- 5 California Institute of Technology (Pasadena, CA, US)
- 6 Western Digital Technologies, Inc. (Irvine, CA, US)
- 7 The DIRECTV Group, Inc. (El Segundo, CA, US)
- 8 HGST Netherlands B.V. (Amsterdam, NL)
- 9 Avery Dennison Corporation (Glendale, CA, US)
- 10 Mattel, Inc. (El Segundo, CA, US)

カリフォルニア州南部地区連邦地裁における特許訴訟件数推移

訴訟件数は、過去3年間ほぼ横ばいである。ただ、裁判地に関する昨年の最高裁判決（TC Heartland case*）によって、今後は増加する傾向になると考える。



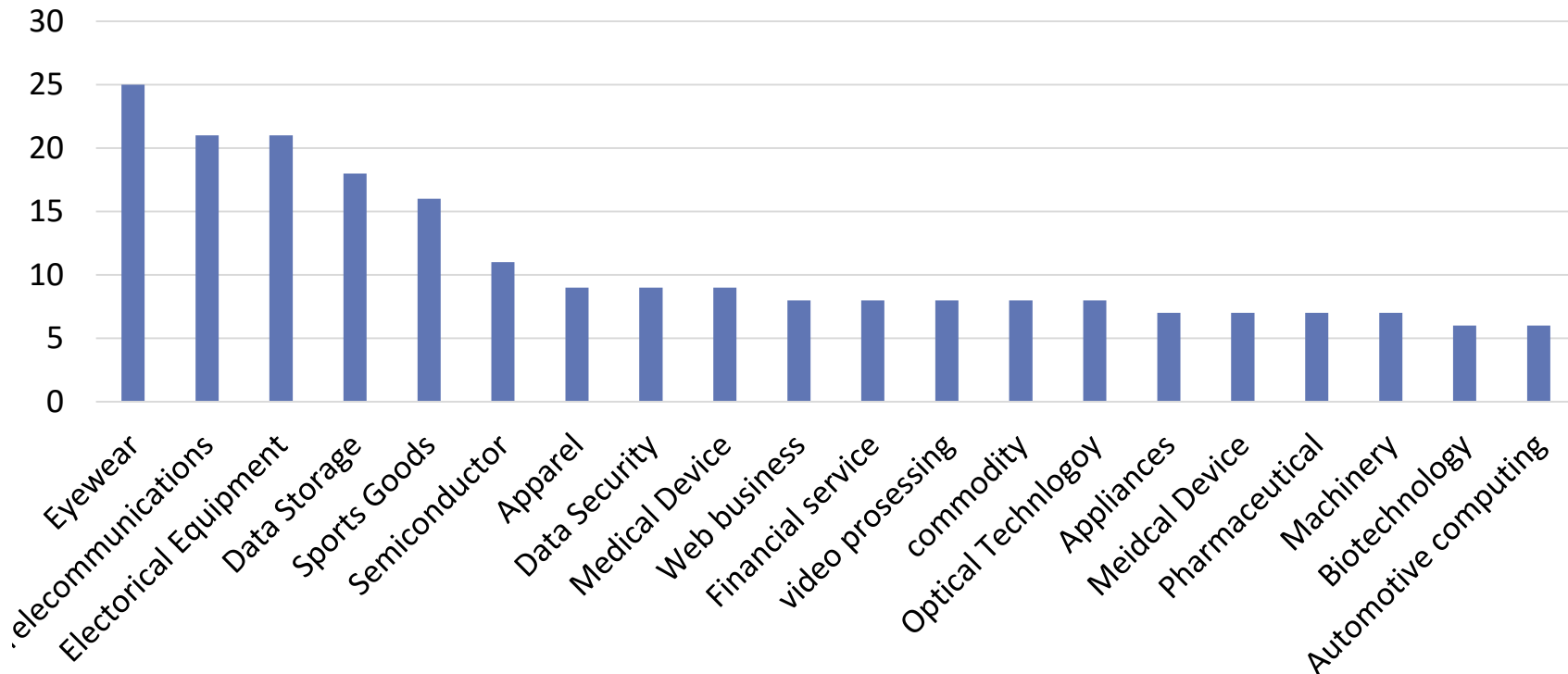
* TC Heartland LLC v. Kraft Foods Group Brands LLC, Case No. 16-341 (Supr. Ct., May 22, 2017)

従来は、特許権を侵害すると考えられる製品が販売されている地域において、特許侵害訴訟を提起できると解釈されていた。このような解釈から、特許権者にとって有利な裁判が期待できると考えられているテキサス州東部地区などで、訴訟提起されることが、戦略的に行われてきた。今回の裁判で、連邦最高裁判所は、特許裁判を提起できるのは、①被告の会社が設立された地区か、②被告が侵害行為を行い、かつ恒常的に確立した事業所を有する地区に限定されると判事した。

カリフォルニア州南部地区連邦地裁における特許訴訟技術分類

サングラスメーカーのOakleyは、積極的な訴訟戦略を採っているため、訴訟件数が多い。その他は、ほぼ特許出願件数に比例するような結果になっている。これは、より特許訴訟のリスクにさらされている業種は、防衛という意味でも、積極的に特許出願をするからであると推察される。

訴訟件数



スタートアップ企業が注意すべき特許上、営業機密上のポイント

- ① 知的財産は、会社の重要な資産であることを理解し、その保護を図ることが、スタートアップ企業が競争力を持つ上で重要な要素である
- ② 訴訟社会の米国においては、知的財産に関する、様々な契約条件があるので、不要にサインをすることなく、慎重に契約条項を専門家と検討すべきである
- ③ 営業機密として秘匿する場合、機密管理を徹底し、特に退職社員との間でも、退職時に、機密保持契約を結んでおく必要がある
- ④ 特許は、より早く出願した者に優先権があるため、アイデアがあれば、出来るだけ早く出願を検討すべきである
- ⑤ 特許権の異業種間での活用の可能性を視野に入れ、出願戦略を構築すべきである
- ⑥ 知的財産が誰に帰属するのか（発明者個人、企業か）を明確にしておく必要がある

① 知的財産は、会社の重要な資産であることを理解し、その保護を図ることが、スタートアップ企業が競争力を持つ上で重要な要素である

以下は、特許を武器に新規市場への参入、または市場における競争優位性を確立した成功例。

1) 圧倒的リーディング企業に対抗するための特許戦略

カメラメーカーだったキヤノンが複写機に進出した際に、多くの特許を保有していたゼロックスに対抗するために、特許戦略を構築した。現在でも、キヤノンには、将来的な技術動向を踏まえ、特許出願を先行して進め、特許網を構築してから事業化を行う戦略を採っている。

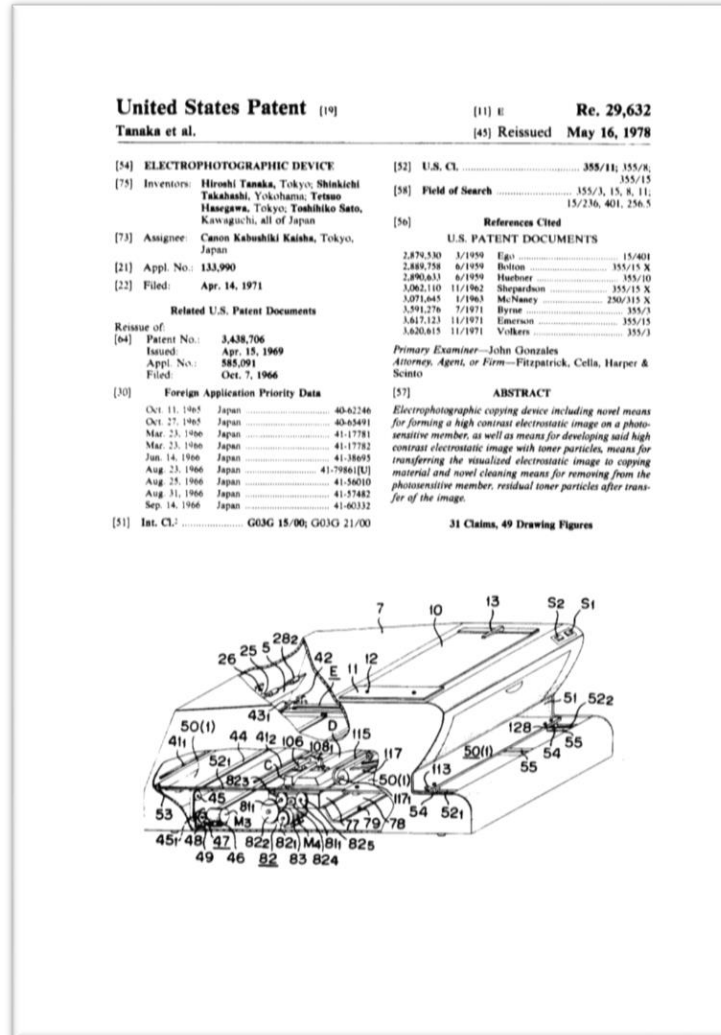
2) 新規市場での競争優位性を確立するための特許戦略

アマゾンには、ネットによる注文方式に関する基本特許を1999年に獲得し、この特許を使って、最大のライバル企業であるバーンズ・アンド・ノーブル社を被告に特許権侵害訴訟を提起し、勝訴した。

3) SNSマーケットでのユニークな新規技術を保護するための特許戦略

Snapchatは、2011年に設立されたスタートアップ企業であるが、すでに29件の登録特許を保有し、8件の特許が現在も出願中である。これらの特許網によって、他のSNS業者との技術的差別化、競争優位を保っている。

①-1) 圧倒的リーディング企業に対抗するための特許戦略： キヤノン



先行する電子写真技術

1959年、米ハロイド社（現在のゼロックス社）が電子写真の基礎技術を用い初の普通紙複写機（PPC）を開発した。すぐに重要な産業として発展を遂げ、技術開発競争が繰り広げられることとなった。



技術開発と特許戦略

1962年、キヤノンはこの分野に本格参入し、ゼロックス社が持つ1000件以上の特許を回避し「NP方式」という新たな印刷技術を発明した。

NP方式では感光材料として、ゼロックス社が採用したセレンではなく、カメラの露出計の材料で社内にあったCdS（硫化カドミウム）を採用。メンテナンスが必要で極めてデリケートなセレンドラムに比べ、はるかに高い耐久性を実現した。

その後も様々な技術開発、特許取得を経て、キヤノンの電子写真技術は世界中で使用されるようになった。

①-2) 新規市場での競争優位性を確立するための特許戦略： アマゾン

オンライン注文における「カゴ落ち」の課題

オンライン購入が始まって間もない頃は消費者の不安感を払拭させるため、何段階ものステップを踏ませる注文システムだった。しかし「買い物カゴ」に入れられたまま購入に至らない「カゴ落ち」率は平均して70%を超えていた。



新規ビジネスモデルの採用・特許にて優位性を確立

Amazon社は、ネットショッピングを利用する消費者が買い物時に予め入力していた個人情報・支払情報をもとに、一回のクリックですぐに購入できるビジネスモデルを採用した。消費者の不安が高まるとも思われたが、ワンクリック採用後、Amazonの顧客は飛躍的に伸びた。1999年にはビジネスモデル特許の先駆けともなるいわゆる「ワンクリック」特許を取得。

当該特許を使い、Amazon社は、「エクスプレス・レーン」と呼ばれるワンクリック購入機能を提供したバーズアンドノーブル社を提訴した他、アップル社にオンラインストアでのワンクリック購入の使用許可を与えた。2017年9月12日に、当該特許は失効したが、すでにeコマースの最大手となった現在においては、特許消滅がAmazon社に与える影響は少ないと考えられている。

US005960411A

United States Patent [19] [11] **Patent Number:** 5,960,411
Hartman et al. [45] **Date of Patent:** Sep. 28, 1999

[54] **METHOD AND SYSTEM FOR PLACING A PURCHASE ORDER VIA A COMMUNICATIONS NETWORK**

[75] **Inventors:** Peri Hartman, Jeffrey P. Bezos, Shel Kaplan, Joel Spiegel, all of Seattle, Wash.

[73] **Assignee:** Amazon.com, Inc., Seattle, Wash.

[21] **Appl. No.:** 08/928,851
 [22] **Filed:** Sep. 12, 1997

[51] **Int. Cl.** G06F 17/60
 [52] **U.S. Cl.** 705/26; 705/27; 345/962
 [58] **Field of Search** 705/26, 27; 380/24, 380/25; 235/2, 375, 378, 381; 395/188.01; 345/962
 (List continued on next page.)

[56] **References Cited**

U.S. PATENT DOCUMENTS

4,937,863	6/1990	Robert et al.	3804
5,204,897	4/1993	Wyman	3804
5,260,999	11/1993	Wyman	3804
5,827,940	5/1997	Robra et al.	305/12
5,640,501	6/1997	Tupin	395/768
5,640,577	6/1997	Scharmer	395/768
5,664,111	9/1997	Nahan et al.	705/27
5,715,314	2/1998	Payne et al.	380/24
5,715,399	2/1998	Bezos	705/27
5,727,163	3/1998	Bezos	705/27
5,748,081	4/1998	Levine et al.	395/280.3
5,758,126	5/1998	Daniels et al.	395/500

FOREIGN PATENT DOCUMENTS

0855659 A1	1/1998	European Pat. Off.	G06F 17/60
0855687 A2	1/1998	European Pat. Off.	G07F 19/00
0845747 A2	6/1998	European Pat. Off.	G06F 17/60
0883076 A2	12/1998	European Pat. Off.	G06F 17/60
WD 95/30961	11/1995	WIPO	G06F 17/60
WD 96/38799	12/1996	WIPO	G06F 17/60
WD 98/21679	5/1998	WIPO	G06F 17/60

OTHER PUBLICATIONS

Jones, Chris. "Java Shopping Cart and Java Wallet; Oraclec plans to join e-commerce initiative." Mar. 31, 1997, Info-World Media Group.

26 Claims, 11 Drawing Sheets

```

graph TD
    A[Main Page (Web Browser)] --> B[Purchase order]
    B --> C[Order confirmation]
    C --> D[Add to Shopping Cart]
    D --> E[Buy]
    
```

①-3) SNSマーケットでのユニークな新規技術を保護するための特許戦略: Snapchat

US008909725B1

(12) **United States Patent**
Sehn

(10) **Patent No.:** US 8,909,725 B1
(45) **Date of Patent:** Dec. 9, 2014

(54) **CONTENT DELIVERY NETWORK FOR EPIHEMERAL OBJECTS**

(71) Applicant: **Snapchat, Inc.**, Venice, CA (US)

(72) Inventor: **Timothy Sehn**, Marina Del Rey, CA (US)

(73) Assignee: **Snapchat, Inc.**, Venice, CA (US)

(*) Notice: Subject to any disclaimer, the term of this patent is extended or adjusted under 35 U.S.C. 154(b) by 0 days.

(21) Appl. No.: **14/201,707**

(22) Filed: **Mar. 7, 2014**

(51) Int. Cl. **G06F 15/16** (2006.01)
H04L 29/08 (2006.01)

(52) U.S. Cl. **CPC** **H04L 67/26** (2013.01); **H04L 67/2842** (2013.01)
USPC **709/206**

(58) **Field of Classification Search**
CPC H04W 4/02; H04W 88/182; H04W 40/20; H04W 8/18; H04L 67/22; H04L 67/2847; H04L 67/26; H04L 67/101; H04L 67/1085; H04L 67/104; H04L 51/38; H04L 12/1825

(56) **References Cited**
U.S. PATENT DOCUMENTS
2009/0112453 A1* 5/2009 Hangartner et al. 706-46
2010/0161831 A1* 6/2010 Haas et al. 709-235
2011/0145564 A1* 6/2011 Moshir et al. 713/154
2013/0076667 A1* 3/2013 Herr et al. 455-456.3
2013/0071093 A1* 3/2013 Hanks et al. 386-295
2013/0200443 A1* 10/2013 Collins et al. 709-206
2013/0344896 A1* 12/2013 Kirrme et al. 455-456.3
2014/0011538 A1* 1/2014 Mckahy et al. 455-553.1
2014/0057660 A1* 2/2014 Wagner, Garrick 455-456.3
2014/0122658 A1* 5/2014 Haeger et al. 709/219
2014/0122787 A1* 5/2014 Shaivi et al. 711/103
2014/0155102 A1* 6/2014 Cooper et al. 455-456.3

* cited by examiner

(74) **Attorney, Agent, or Firm** --- Cooley LLP

(57) **ABSTRACT**
A computer implemented method includes receiving an object scheduled for automatic deletion after a specified viewing period, a specified number of views or a specified period of time. Object push criteria are evaluated. The object is pushed to an edge server cache in response to evaluating. The object is served in response to a request for the object.

12 Claims, 3 Drawing Sheets

若者に爆発的人気を誇るSNSと特許戦略

Snap社は送った画像や動画が後に残らず、消えてしまう画期的なSNSアプリSnapchatを開発した。Snap社はこの画期的なビジネスモデルを守るため、「消える対象」特許を取得している。特許上、消える対象は、メッセージであったり、画像であったり、映像も含まれている。



ビジネスの成長に合わせた特許戦略

Snap社は2017年には、AR、ウェアラブル、顔認証などの特許を申請している。同社が提供していくサービスの広がりに応じて、積極的な特許戦略をとっているのがうかがえる。

② 訴訟社会の米国においては、知的財産に関する、様々な契約条件があるので、不要にサインをすることなく、慎重に契約条項を専門家と検討すべきである

- 他社へ技術を開示する場合、秘密保持契約を締結しておかないと、相手方に盗用された場合でも、自社の技術に関してTrade Secretとしての保護が受けられなくなる可能性がある
- 逆に、秘密保持契約を締結した上で、他社の技術内容を聞いた場合、同じような技術を自社で開発していた場合、後日ロイヤルティの支払を求められたり、機密の盗用で訴えられたりするケースがある
- コンポーネントパーツを供給する場合、供給先から包括的ライセンス契約の締結を求められることがある。このライセンス契約を締結すると、自社の保有する特許を広範囲に供給先にライセンスすることになる可能性がある
- スタートアップ企業において、従業員である発明者との間では、事業活動中に取得した特許については、企業に権利が譲渡されるように、あらかじめ社員との雇用契約で規定しておく必要がある。このような文書は、発明者の退社後の特許出願手続などで必要となることがある

③ 営業機密として秘匿する場合、機密管理を徹底し、特に退職社員との間でも、退職時に、機密保持契約を結んでおく必要がある

- 最近の例では、Uberで自動運転関連技術の開発責任者を務めるAnthony Levandowskiが、元の会社であるWaymo（Googleの子会社）から機密情報を不正に持ち出したとして、訴訟になっていた
- この訴訟は、今年2月に和解が成立し、Uberは、Waymoに対して、0.34%の株式配当を行うことになった。金額で換算すると、2億4500万ドル相当である

Joel Rosenblatt | Bloomberg News February 9, 2018 12:00 PM, EST

Uber Settles Waymo Driverless Car Suit, Said to Pay \$245 Million



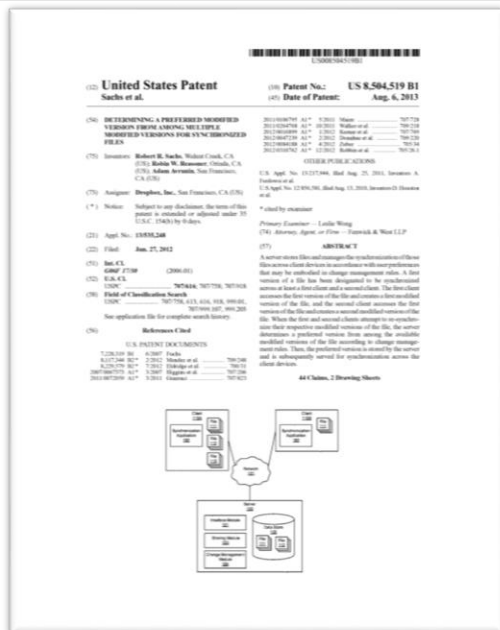
Photos by Seth Wenig, Eric Risberg/AP

Uber Technologies Inc. settled the high-stakes trade-secret theft lawsuit brought by Waymo, resolving a conflict that already cost the ride-hailing giant its top driverless car engineer and threatened to further embarrass the company.

④ 特許は、より早く出願した者に優先権があるため、アイデアがあれば、出来るだけ早く出願を検討すべきである

- 特許は、発明を公開してから1年以内に出願しないと無効になり、より早く出願した者に優先権があるため、アイデアがあれば、出来るだけ早く出願を検討すべきである
- 米国特許法上は、仮出願という制度があり、通常の出願に比べて簡易に、優先権を確保できる
- 特許出願にかかる弁護士費用は、技術分野や発明の内容によっても異なるが、通常は1万2千ドルから1万5千ドル程度である

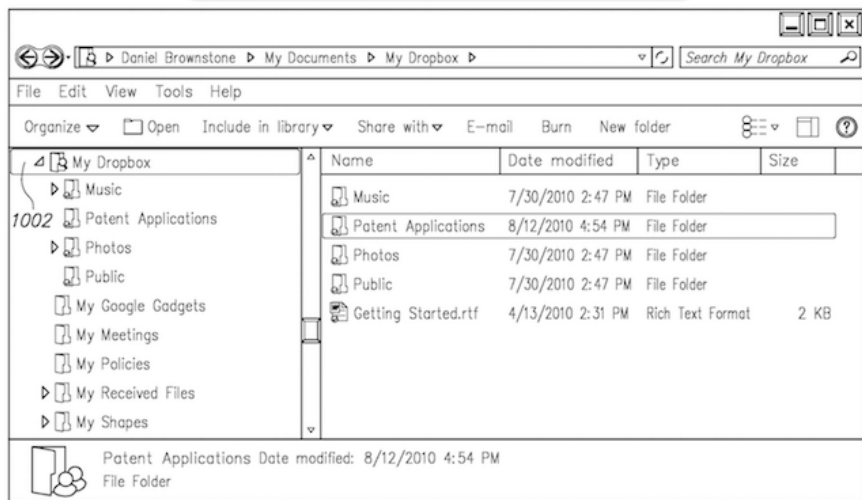
④ 創業後3年以内に申請した特許を軸に成功を取めたスタートアップの例： Dropbox



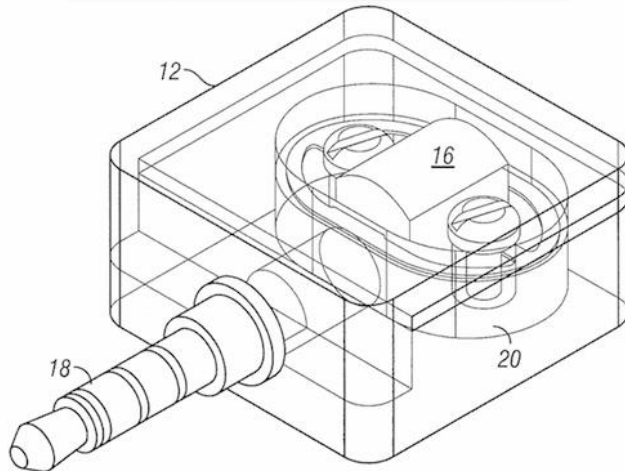
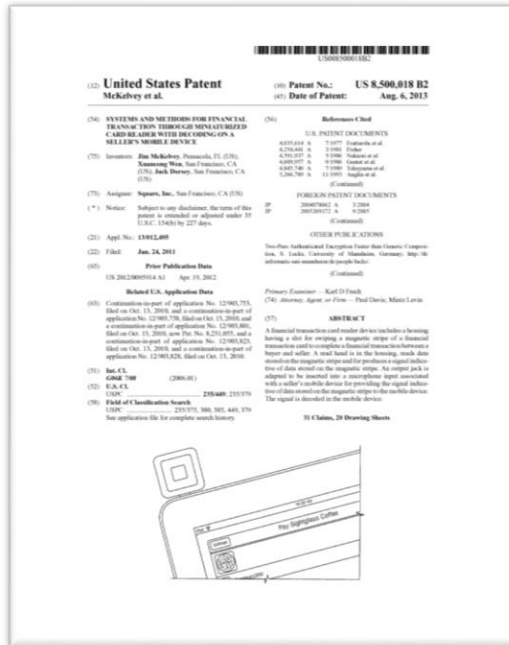
- 2007年6月1日に創業
- 本特許は2010年8月に申請
- 2014年にはUS\$10Bの企業価値で資金調達に成功（現在はプライベート企業）

取得特許について：

- サーバー上のファイルと、端末上のファイルのシンクロに関する特許で、資料のバージョン管理を可能とする
- 便利で簡単なオンライン・ファイル管理という、新しい文書管理システムを切り拓き、普及させた
- 現在は200以上の国々で5億人以上のユーザーが使用
- 現在269件の特許を保有



④ 創業後3年以内に申請した特許を軸に成功を取めたスタートアップの例： Square

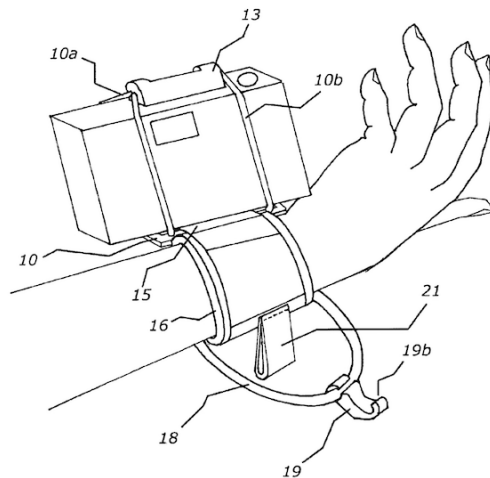
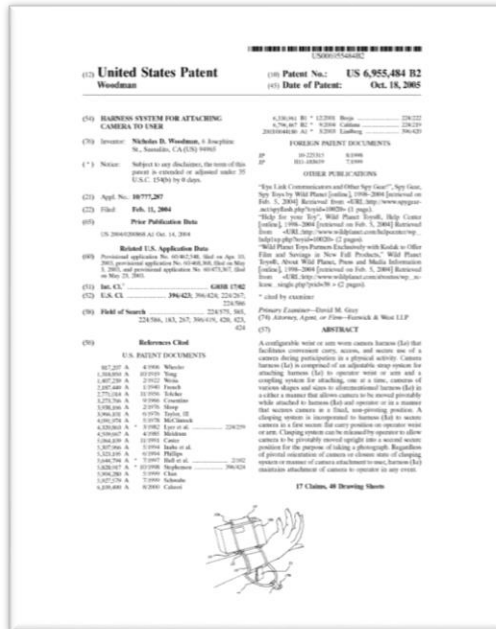


- 2009年2月1日に創業
- 本特許は2010年10月に申請
- 2018年3月20日時点の株式時価総額はUS\$22.87B (NYSE: SQ)

取得特許について：

- モバイル端末に装着するクレジットカード読み取りデバイスを通じてサーバー上のシステムと連携することにより、決済を可能とする特許
- 小売店が汎用的なスマートフォンやタブレットを簡易的なPOSに仕立て上げる可能性を切り拓いた
- 現在308件の特許を保有

④ 創業後3年以内に申請した特許を軸に成功を取めたスタートアップの例： GoPro



- 2002年1月1日に創業
- 本特許は2004年2月に申請
- 2018年3月20日時点の株式時価総額はUS\$730.92M (NASDAQ: GPRO)
- UCSD (The University of California, San Diego)の卒業生が起業

取得特許について：

- カメラを腕や身体に固定する、自社開発のハーネス・システムについての特許を取得
- カメラの形状の優位性を活かし、その他デザイン・パテントも多数出願
- 現時点で156件のデザイン・パテントを保有

⑤ 特許権の異業種間での活用の可能性を視野に入れ、出願戦略を構築すべきである

- 特許は、通常は自社の技術開発の中で生み出されるものであるが、その権利範囲は、異業種間で活用されることも十分ありうる
- 例えば、1993年にゲーム用GPUの開発会社としてスタートしたNVIDIAは、積極的な特許出願（3,240件のUS特許を保有）と権利活用を進めて競争優位に立ち、現在では自動運転技術に展開をしている
- 将来の異業種への横展開を睨んだ特許を出願するためには、戦略的視点を持った特許弁護士と議論をして、出願範囲を決定していく必要がある

NVIDIA Corporation
NASDAQ: NVDA - Mar 15, 1:50 PM EDT

NVIDIAの株価

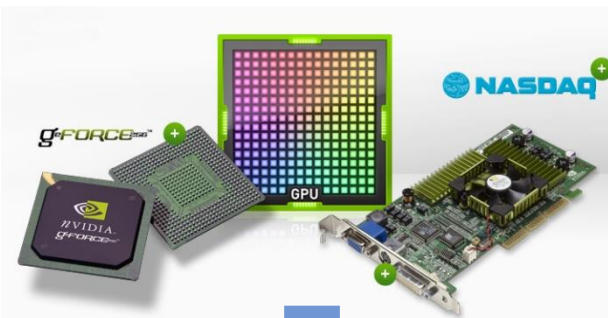
248.95 USD ↑0.21 (0.08%)

1 day 5 day 1 month 3 month 1 year 5 year max



Open	249.29	Mkt cap	150.64B
High	252.62	P/E ratio	53.96
Low	248.13	Div yield	0.24%

1999



2005



2016



Tesla Motors' Self-Driving Car, Powered by NVIDIA DRIVE™ PX 2 AI Technology

⑥ 知的財産が誰に帰属するのか（発明者個人、企業か）を明確にしておく必要がある

- M&Aの視点で、スタートアップ企業を見る場合、知的財産の帰属が誰にあるかは、重要なポイントとなる。主要な知的財産が、会社の設立者である発明者個人に帰属している場合、その発明者が退職してしまうと、会社として存続が難しくなるケースが多い
- 例えば、スタートアップ企業において、既に特許を保有する発明者が、特許権のライセンスという形で、起業に参加している場合、その発明者が退職をして、ライセンス契約を解除した場合には、その技術を使うことは出来なくなってしまう。したがって、スタートアップ企業としては、当該特許の実施権を特許存続期間すべてにおいて取得をしておくか、特許を買い取っておく必要がある
- また、スタートアップ企業の事業活動中に取得した特許については、企業に権利が譲渡されるように、あらかじめ社員との雇用契約で規定しておく必要がある

6. スタートアップ向けイベント情報

アクセラレーター・インキュベーター主催イベント



Expert Dojo

<https://expertdojo.com/>

- アメリカで最も規模の大きなスタートアップ向けピッチングイベントであるInvestor Festivalを主宰しているExpert Dojo。スタートアップと投資家をつなぐ3日間のカンファレンスを開催している
- Lightspeed Ventures, Goldman Sachs, Upfront Ventures, Lux Capital, Arena Ventures , Crosscut Ventures, Bryant Stibel, Bam Ventures, Qualcomm Ventures, Social Leverage, TenOneTen Ventures, Wavemaker Partners, K1 Ventures, Luma Ventures, Bonfire Ventures、その他VCやエンジェル投資家など多くの投資家が参加してきた
- Expert Dojoは12週に渡るアクセラレータープログラムや、ネットワーキングイベント、ワークショップなど、様々なイベントを開催



アクセラレーター・インキュベーター主催イベント

techweek

Techweek

アメリカ各地で開催されているTechweek主催の、Techスタートアップ向けイベント。地域の起業家たちをつなげ、エンパワーし、地域のスタートアップエコシステムの支援を目的としている。ゲストスピーカーによるトークイベントやネットワーキングイベント、リクルーティングなどが行われる。

<http://techweek.com/losangeles/>

builtinlosangeles BETA

Built In LA

スタートアップやハイテク企業向けのイベントやニュース、求人広告を掲載しているオンライン・コミュニティ。スタートアップ向けネットワーキングイベントの情報などが閲覧できる。

<https://www.builtinla.com/>



Techstars Startup Weekend

参加者それぞれが持ち寄ったアイデアをピッチし、賛同する人とチームを形成。メンターの指導を受けながらアイデアを形にしていき、最後にジャッジの前で発表するという3日間のイベント。

<https://startupweekend.org/>

CESにおける各国スタートアップ支援状況

ラスベガスで毎年開催される家電見本市（CES：コンシューマー・エレクトロニクス・ショー）は、大きく3つのエリアにて、4000社以上の展示が行われている。

Eureka Park

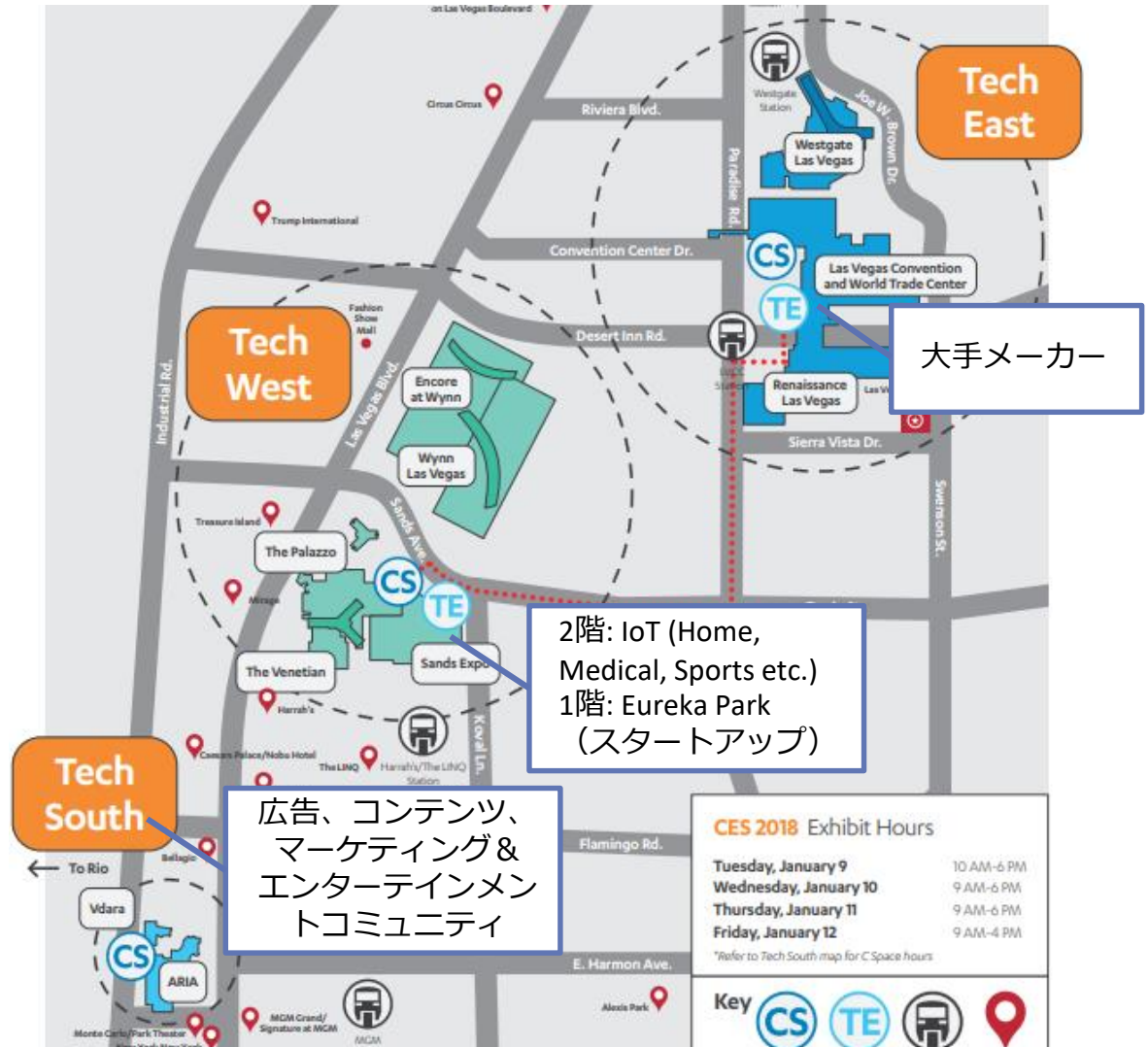
Tech Westに位置する、Sands Expo1階部分には、ユーリカパークと呼ばれるスタートアップが集結するエリアがある。

従来イノベティブな企業が企業ごとに展示をしてきていたが、近年は国ごとにまとまったスペースを確保し、そのもとで各国のスタートアップ企業が展示を行っている。言わばイノベーション企業によるオリンピックの様相を呈している。

ユーリカパークの二階部分では、IoT製品がテーマごと（Home、Medical、Sportsなど）に展示されている。

Tech East

Tech Eastでは、自動車、オーディオ、VR、ゲームなど、主に大手メーカーが展示を行っている。



CESにおける各国スタートアップ支援状況

注目を浴びるフレンチ・テック

フレンチ・テックは、フランス国内のスタートアップ企業を国際的にアピールするために立ち上げたブランド（認証ラベル）である。フレンチテック推進の中心的な人物として知られているのが、2017年の大統領選挙で勝利したエマニュエル・マクロン氏で、デジタル担当大臣時代（2014～2016年）から積極的に活動を推進してきた。2015年頃から政府の支援が本格化し、企業や都市単位での支援、海外展開にむけたネットワーキング、国外の起業家誘致などが行われてきた。

CESのユーリカパーク内で、フランス勢は国を挙げてまとまったスペースを確保しプロモーションしている。この流れは2016年頃から始まり、フレンチ・テックのブランドのもとにフランスのスタートアップ企業が積極的に参加してきている。2016年には190社（前年度の2倍）、2017年には196社、2018年には320社が参加しており、年を追うごとにその存在感が増している。



CESにおける各国スタートアップ支援状況

CES2018でのその他各国の動き

CES2018の国別企業参加数を見ると、米国の1745社を筆頭に、中国の1326社、フランスの338社、カナダの100社、イギリスの77社、オランダの66社、ドイツの54社、イスラエルの51社が続いた。

CESでは各国が国を挙げて自国のスタートアップ企業を支援し、国単位で技術力をアピールする動きが年々強まってきているように感じられる。AI分野でリーダーシップを取りたい中国は、参加企業数もさることながら、出展も「スマートシティ」「音声・コンピューティング」、「実生活へのAI応用」などといったテーマごとに行い、AI技術国として世界トップクラスのレベルにあることを強くアピールできた。また、台湾やドイツ、オランダ、イギリス、シンガポール、イスラエルなどのスタートアップ企業はユーリカパーク内に国別の展示スペースを設け、French Techに続けとばかりに国単位で各国の技術力をアピールし、印象に残った。



2017年度日本発知的財産活用 ビジネス化支援事業エコシステム調査 ～ロサンゼルス編～

2018年3月作成

作成 日本貿易振興機構（JETRO） ロサンゼルス事務所
発行所 日本貿易振興機構（JETRO）
知的財産・イノベーション部イノベーション促進課
〒107-6006 東京都港区赤1-12-32
電話 03-3582-5770
